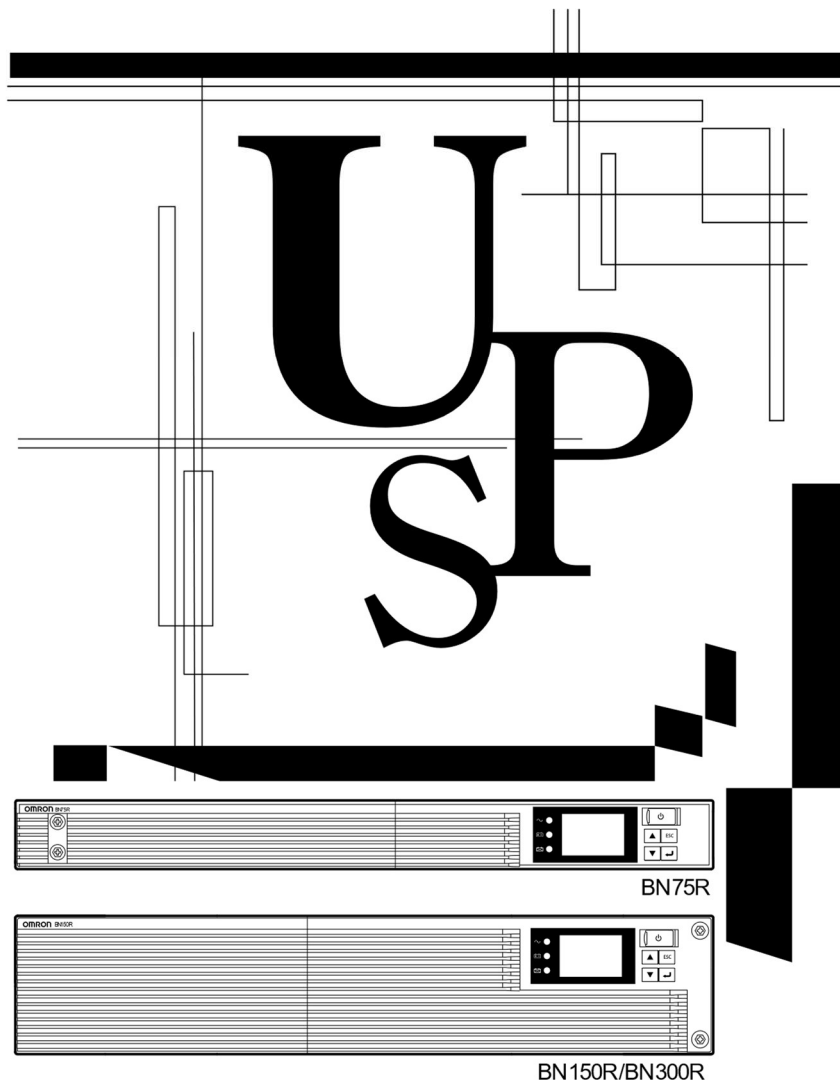


## 無停電電源装置(UPS) BN75R/BN150R/BN300R 取扱説明書



- 本取扱説明書には本機を安全に使用するための重要なことが書かれていますので、設置や使用する前に必ずお読みください。
- 当社ホームページよりダウンロードした取扱説明書をいつでも読むことができるようお手元に保管しご使用ください。
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 保証書は本製品に同梱されています。

# はじめに

このたびはオムロン「無停電電源装置(以下 UPS)」をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
本取扱説明書は、オムロン UPS を使用する上で、必要な情報を記載しています。  
お使いになる前に本取扱説明書をよく読んで、機能・性能などを十分に理解し、使用してください。  
また、お読みになった後も本取扱説明書は大切に保管して、いつも手元に置いてお使いください。

## 対象となる読者の方々

本取扱説明書は、次の方を対象に記述しています。

- ・電気の知識(電気工事士あるいは同等の知識)を有し、UPS の導入/運用を担当される方。

## 本製品の特長

- ・ UPS は停電や電圧変動、瞬時の電圧低下、雷などによるサージ電圧(異常に大きな電圧が瞬間的に発生する現象)からコンピュータなどの機器を保護するための装置です。
- ・ 本機は電源入力が AC100~120V、電源出力が 100~120V 仕様、ラインインタラクティブ方式の UPS です。
- ・ 通常時は商用電源入力をトランス経由で出力し、入力電圧が低くなるとトランスで昇圧して、また入力電圧が高くなるとトランスで降圧して出力します。また停電、電圧変動が大きいときなど商用電源の異常を検出したときはバッテリーからの給電に 10ms 以内で切り替えて、正弦波出力を継続します。
- ・ 最大出力容量は BN75R は 750VA/680W、BN150R は 1.5kVA/1350W、BN300R は 3kVA/2700W です。

## UPS の用途について

- ・ 本機はコンピュータなどの OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
  - ・ 人命に直接関わる医療用機器。
  - ・ 人身の損傷に至る可能性のある用途。  
(航空機、船舶、鉄道などの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
  - ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
  - ・ 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。  
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
  - ・ これらに準ずる機器。
- ・ 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- ・ 本取扱説明書記載の使用条件・環境などを遵守してください。UPS が故障または発煙、発火、けがなどの事故に至るおそれがあります。
- ・ 特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンターへご相談ください。
- ・ 装置の改造・加工は行わないでください。
- ・ 本機は、日本国内専用品です。
  - ・ 日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因になることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
  - ・ 日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
  - ・ お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。  
必要な許可を取得せずに輸出されると同法により罰せられます。

## 情報処理装置など電波障害自主規制(VCCI)の 適合クラスについて

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### 免責事項について

取扱説明書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、当社製品に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の当社製品によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。

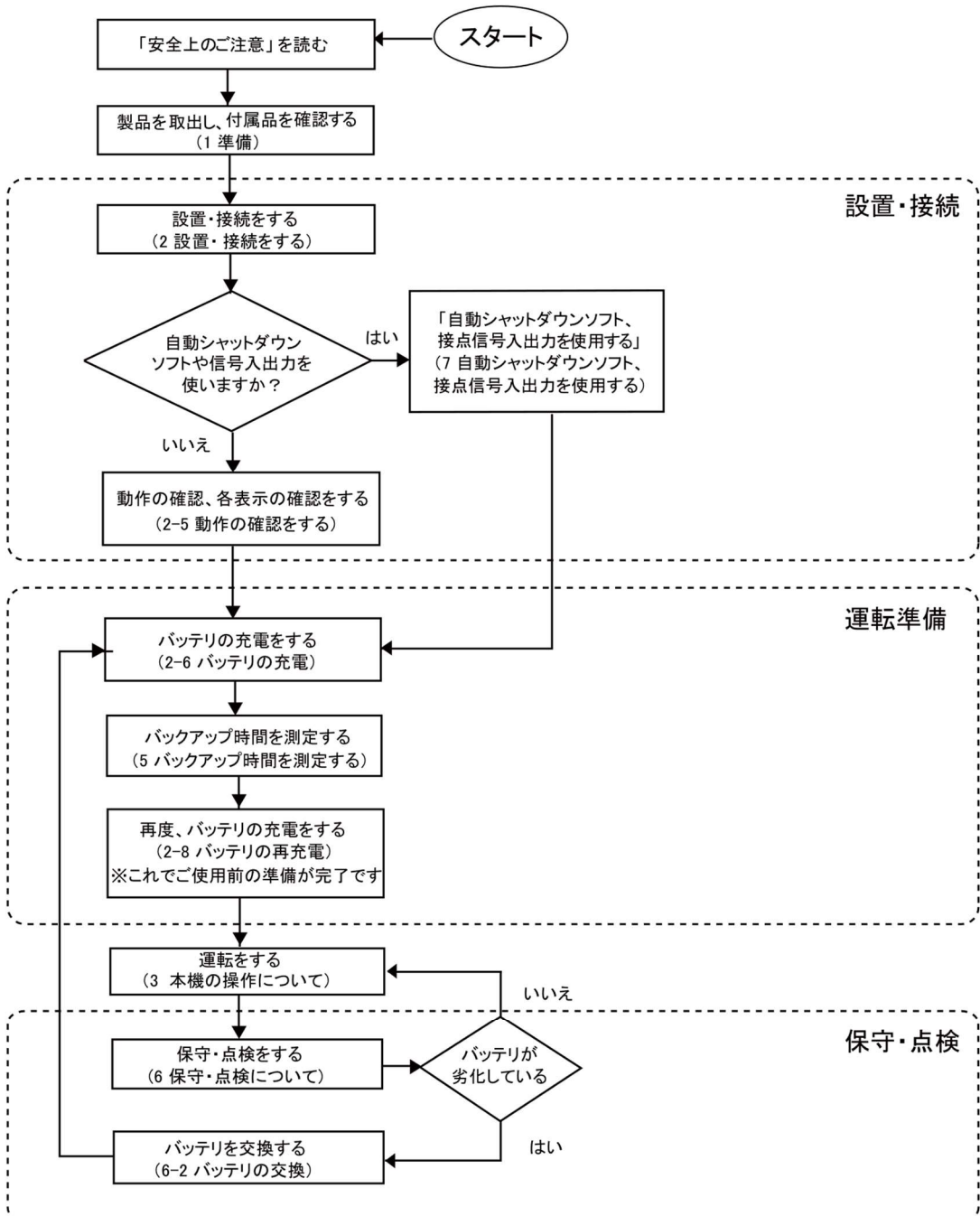
- 最初に安全上のご注意について記載していますので、必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- 本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付の上、譲渡してください。  
本機は添付書類など記載の条件に従うものとします。

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

©OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2013-2021 All Rights Reserved.

# 設置から運転までの手順

設置から運転までの手順を示しています。



# 目次



はじめに .....	2
設置から運転までの手順 .....	5
安全上のご注意 .....	8
1 準備 .....	16
1-1 製品を取り出す .....	16
1-2 付属品を確認する .....	17
1-3 各部の名称 .....	18
2 設置・接続をする .....	20
2-1 設置・接続時のご注意、お願い .....	20
2-2 設置する .....	24
2-3 機器の接続方法 .....	30
2-4 AC 入力の接続 .....	32
2-5 動作の確認をする .....	36
2-6 バッテリの充電 .....	38
2-7 バックアップ時間の初期値測定 .....	38
2-8 バッテリの再充電 .....	38
3 本機の操作について .....	39
3-1 運転時のご注意、お願い .....	39
3-2 運転・停止方法と基本的な動作 .....	41
3-3 ブザー音とLCD表示の見方 .....	44
4 本機の機能について .....	46
4-1 ブザー音を一時停止する .....	46
4-2 自己診断テストの説明 .....	46
4-3 バッテリー寿命カウンタ機能の説明 .....	46
4-4 LCDメニューについて .....	47
5 バックアップ時間を測定する .....	51
5-1 バックアップ時間の測定方法 .....	51
5-2 バックアップ時間の目安 .....	51
6 保守・点検について .....	53
6-1 バッテリーの点検 .....	53
6-2 バッテリーの交換 .....	54
6-3 本体のお手入れ方法 .....	59
7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する .....	60
7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合 .....	63
7-2 Windows Server2003/Xp の UPS サービス+UPS サービスドライバによる 自動退避処理をする場合 .....	66
7-3 Windows Server2003/Xp 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合 .....	66
7-4 接点信号入出力カードを使用する .....	67
8 SNMP/Web カードを使用する .....	72
8-1 SNMP/Web カードの増設 .....	72

8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Web カード(SC20G2)の概要 .....	73
9 おかしいな?と思ったら .....	74
参考資料 .....	77
A. 仕様 .....	77
B. 外形寸法図 .....	78
C. 回路ブロック図 .....	83
D. 関連商品 .....	83



# 安全上のご注意



安全にご使用になるために重要なことがらが書かれています。  
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●本取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

 : 禁止(してはいけないこと)を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。

 : 強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。  
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 警告

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。

※本機は、コンピュータなどの OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。(例: 車両などの運行、運転、制御など)
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。  
(例: 主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)
- 上記に準ずる用途。



ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

- 本機が故障または発煙、発火のおそれがあります。



アース接続(接地)を確実に実施すること。

- 電源コンセントプラグの形状を確認の上、本機の「AC 入力」プラグをそのまま差し込んでください。アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。



分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。







## 警告

**使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。**

**次のような場所で設置や保管をしないこと。**

- a. 温度が-15℃よりも低い／温度が50℃よりも高い場所、湿度が10%RHよりも低い／湿度が90%RHよりも高い場所で保管しないこと。
- b. 温度が0℃よりも低い／温度が40℃よりも高い場所、湿度が25%RHよりも低い／湿度が85%RHよりも高い場所で使用しないこと。
- c. 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／塩分、水滴がある場所／極端にほこりの多い場所／導電性のほこりがある場所／直射日光が当たる場所／振動や衝撃が加わる場所／屋外など。

- 発煙、発火のおそれがあります。



**ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。**

**束ねた状態で使用しないこと。**

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



**吸排気口は塞がないこと。(前面および背面)**

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリー劣化の原因となります。
- 壁から5cm以上離して設置してください。



**本機には設計上の標準使用期間があるため、計画的に本機を交換し、設計上の標準使用期間を超えて使用しないこと。**

- 設計上の標準使用期間を超えてそのまま使用を続けた場合、経年劣化により、正常にバックアップできなくなる、または突然運転を停止するなどの誤動作や故障の原因になります。また、発煙・発火が生じ、火災などの事故に至るおそれがあります。
- 本機の設計上の標準使用期間は、周囲温度が25℃の場合で7年、40℃の場合で5年です。ただし、設計上の標準使用期間は周囲環境(温度、塵埃)によっても異なるため、保証値ではなく目安となります。



**本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。**

- 前面パネルの表示がすべて消えていても出力は継続します。
- 前面の「電源」スイッチでの出力のON/OFF操作はできなくなります。
- 出力を停止したい場合は、商用電源の供給元を停止するか、AC入力プラグを電源コンセントから抜いてください。



**接続機器の保守を行う場合は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。**

- 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき商用電源を停止しても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。



**バッテリー接続コネクタに金属物を挿入しないこと。**

**コネクタの端子間をショートしないこと。**

- 感電するおそれがあります。



 **警告**

指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式：BN75R 交換用バッテリーパック：BNB75R 1個  
BN150R 交換用バッテリーパック：BNB150R 1個  
BN300R 交換用バッテリーパック：BNB300R 1個



コイル(トランス、電磁石)、モーターなどの誘導性の機器を単体で接続しないこと。

- 本機が故障、または発煙・発火のおそれがあります。



 **注意(設置・接続時)**

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

設置作業は安定した平らな場所で行うこと。

作業は2人以上で行うこと。

なお、19インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようにご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BN75R：約14kg、BN150R：約21.5kg、BN300R：約32kgです。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。  
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



本機の「AC入力」は必ず定格入力電圧(AC100V)、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



異常(異音・異臭)時は本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

「AC入力」プラグを電源コンセントから抜くこと。「AC入力」プラグは本機の近くの抜きやすい位置に配置すること。

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



BN75Rは12A以上、BN150Rは20A以上、BN300Rは40A以上の電流容量のある商用電源に接続すること。

- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大でBN75Rは12A、BN150Rは20A、BN300Rは40Aの入力電流が流れます。



## ⚠ 注意(設置・接続時)

BN150R/BN300Rで入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。  
AC入力端子と線の色を間違えないこと。

商用電源に接続されている状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行わないこと。

- 入力ケーブルは、UPSの入力電流仕様を満たすものを使ってください。
- 感電、漏電の危険があります。



指定外の方向で設置しないこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。
- 縦置き時は同梱の縦置きスタンドを使用してください。(BN150R、BN300Rのみ)



本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。

テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロードを検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。



変圧トランス、絶縁トランスなどを出力側に接続しないこと。

- 過電流により本機が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合でも本機が故障または動作異常となることがあります。必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。



ラックに設置する場合は、ラックの下方段に本製品を設置すること。

- 落下するとけがをすることがあります。



取り付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。



フロントパネルの側面に手を掛けて持ち上げないこと。

- パネルがはずれて落下するとけがなどの危険があります。



最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



## ⚠ 注意(使用時)

濡らしたり、水をかけないこと。

落下した場合は使用を中止すること。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合、落下した場合はすぐに本機の使用を中止し、AC入力プラグを電源コンセントから抜いて、点検、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



## ⚠ 注意(使用時)

寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると液もれにより、火災、感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
25℃	5年
30℃	4年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。



「AC入力」プラグ、入力端子台および電源出力コンセントのほこりはときどき乾いた布でふき取ること。

- 長期間ほこりが付着したままにしておくこと火災の原因となることがあります。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。
- ご使用環境によっては、バッテリーから水素ガスが発生する場合があります、破裂または爆発の原因となることがあります。本機周辺の換気を行ってください。



変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。  
(「AC入力」プラグを電源コンセントから抜くこと。)

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は異常発生時にすぐに「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜ける状態にしておいてください。



内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



上に 25kg 以上のものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。



本機の上に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしないでください。

- 本機の故障だけでなく、転倒などでけがをする危険があります。



## ⚠ 注意(保守時)

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください



本機を火の中に投棄しないこと。

- バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



## ⚠ 注意(保守時)

本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



## ⚠ 注意(バッテリー交換時)

バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどのおそれがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



## お願い

寒い場所から暖かい場所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電してください。

- ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- 本機を商用電源に接続することでバッテリーを充電できます。

本機を保管される場合は4時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。保管温度 25°C 以下の場合 6 か月以内、保管温度 40°C 以下の場合 2 か月以内に再充電してください。

- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は 25°C 以下の環境を推奨します。
- 保管中は本機の「電源」スイッチを切ってください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

- 本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- 商用運転時に、接続容量オーバーを頻繁に繰り返し、入力電源をそのまま出力する状態(バイパス運転)になる可能性があります。
- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験・絶縁抵抗試験をするときは、側面の「入力サージ保護 GND」のねじをはずして実施すること。

使用中は必ず「入力サージ保護 GND」のねじを取り付けてしっかり締めること。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、アース線を接続したまま耐電圧試験をされると吸収素子が破壊されます。
- 「入力サージ保護 GND」は、BN75R は右側面、BN150R/BN300R は左側面にある銀色のねじです。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

本機を発電機などの電源電圧、周波数が大きく変動する機器と組合せて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 発電機の出カ電圧・周波数が入力電圧・周波数範囲外となった場合、バックアップ運転になります。

本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付のうえ譲渡してください。本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。

- 本説明書には、安全に関わる内容などが記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。また、本説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください。

同梱されているすべての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。

他の機器には使用しないでください。

- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

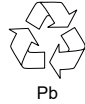
## お願い

### 商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

- 本機は「ECO モード」設定時および機器に異常が発生した時は、バイパス運転を行い、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

### この製品には、鉛バッテリーを使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



### データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 本機は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

## 解説

### 日常の運用方法について

- 本機の「電源」スイッチは入れたまま(運転状態)でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用を行ってください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。
- 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。

### バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了(データをセーブするなどの処置)するようにしてください。

### 再起動について

- 停電中にバッテリーが放電しきってしまうと、出力を停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、出力を開始します。接続機器を動作させたくないときは、本機のLCDメニュー内の[セテイ]ー[キドウセテイ]ー[ジドウサイキドウ](自動再起動)で無効に設定する、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

### 自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時に、プレーカーなどを使用し商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を 3 か月以内に設定してください。3 か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。またこの期間はバッテリーが交換時期になると約半分になります。3 か月を超えた場合、商用電源を供給し、「電源」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが交換時期となった場合、運転を開始できないことがあります。この場合は、「6-2 バッテリーの交換」に従い、バッテリー交換を行ってください。

## 1 準備

### 1-1 製品を取り出す

# 1 準備

## 1-1 製品を取り出す

### 注意(設置・接続時)

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

設置作業は安定した平らな場所で行うこと。

作業は2人以上で行うこと。

なお、19 インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BN75R:約 14kg、BN150R:約 21.5kg、BN300R:約 32kg です。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。  
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。



梱包箱をあけ、本機と付属品を取り出してください。

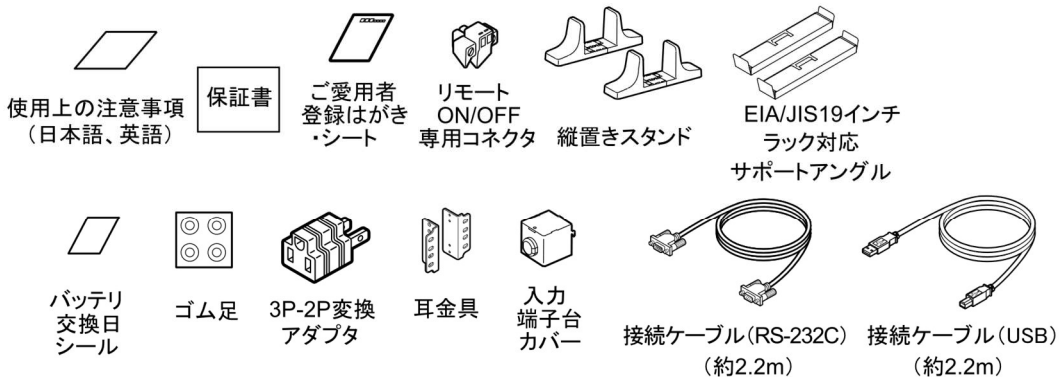


## 1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。  
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、  
すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンターへご連絡ください。

### ●BN75R/BN150R/BN300R

付属品名称	BN75R	BN150R	BN300R
使用上の注意事項(日本語・英語)	1 枚		
保証書	1 枚		
ご愛用者登録はがき・シート	各 1 枚		
リモート ON/OFF 専用コネクタ	1 個		
縦置きスタンド	-	1 セット	
EIA/JIS19インチラック対応サポートアングル(BN75RのみJISラック非対応)	1 セット		
バッテリー交換日シール	1 枚		
ゴム足(φ22mm、高さ 14.5mm)	4 個 1 組		
3P-2P 変換アダプタ	1 個		-
20A AC 入力プラグ	-	1 個	-
シリアル番号シール	4 枚		
耳金具	2 個 1 組		
入力端子台カバー	-		1 組
接続ケーブル(RS-232C,USB)	各 1 本		
自動シャットダウンソフト PowerAct Pro ご利用にあたって	1 枚		
QRコード対応 Web サイトのご案内/ 付属品(紙媒体)の変更について	1 枚		



\*1 本機をUL規格適合品としてご使用される場合は、3P-2P変換アダプタは使用しないでください。

# 1 準備

## 1-3 各部の名称

### 1-3 各部の名称

本機の各部の名称を説明します。

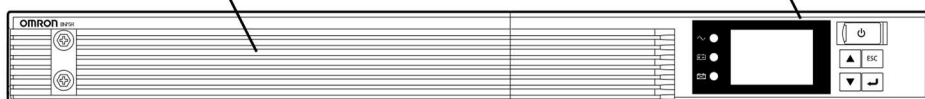
各部の機能については、「2 設置・接続をする」、「3 本機の操作について」などでくわしく説明していますので、あわせてご覧ください。

#### ●前面

<BN75R>

<吸気口>

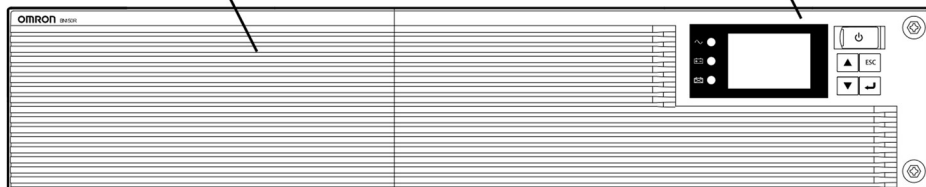
<操作表示部>



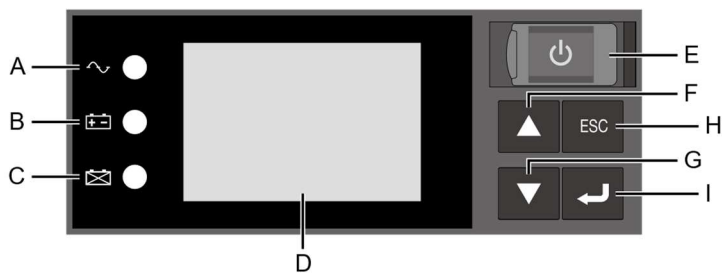
<BN150R/BN300R>

<吸気口>

<操作表示部>



<操作部拡大>



A. 「電源出力」LED

B. 「バッテリーモード」LED

C. 「バッテリー交換」LED

D. LCD

E. 「電源」スイッチカバー/「電源」スイッチ

F. 「上」スイッチ

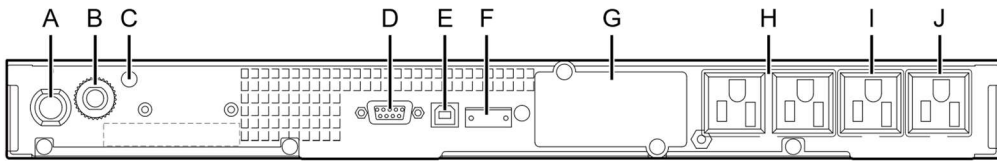
G. 「下」スイッチ

H. 「ESC」スイッチ

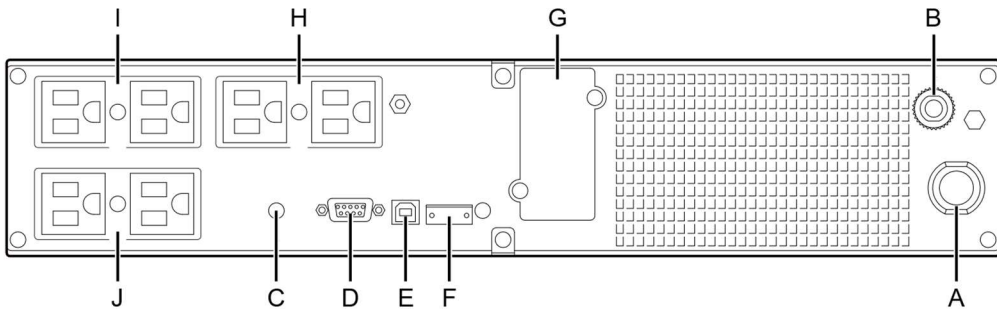
I. 「Enter」スイッチ

## ●背面

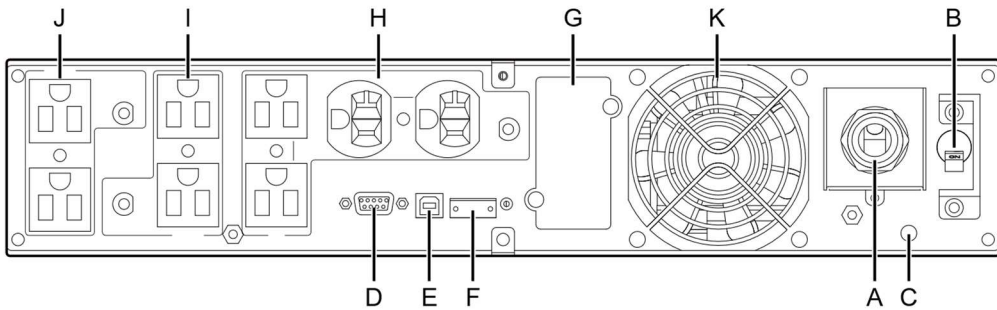
&lt;BN75R&gt;



&lt;BN150R&gt;



&lt;BN300R&gt;



- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| A. AC 入力ケーブル         | G. オプションスロット   |
| B. AC 入力過電流保護スイッチ    | H. 電源出力コンセント A |
| C. 接地端子 (M4 ねじ)      | I. 電源出力コンセント B |
| D. RS-232C ポート       | J. 電源出力コンセント C |
| E. USB ポート           | K. 冷却ファン       |
| F. リモート ON/OFF 専用ポート |                |

## 2 設置・接続をする

### 2-1 設置・接続時のご注意、お願い

# 2 設置・接続をする

## 2-1 設置・接続時のご注意、お願い

以下に安全上のご注意を記載しています。必ずお読みいただき正しく使用してください。



**警告**

**ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。**

- 本機が故障または発煙、発火のおそれがあります。



**アース接続(接地)を確実に実施すること。**

- 電源コンセントのプラグの形状を確認の上、本機の「AC入力」プラグをそのまま差し込んでください。アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。



**分解、修理、改造をしないこと。**

- 感電したり、火災を起こす危険があります。



**使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。**

**次のような場所で設置や保管をしないこと。**

- a. 温度が-15℃よりも低い／温度が50℃よりも高い場所、湿度が10%RHよりも低い／湿度が90%RHよりも高い場所で保管しないこと。
- b. 温度が0℃よりも低い／温度が40℃よりも高い場所、湿度が25%RHよりも低い／湿度が85%RHよりも高い場所で使用しないこと。
- c. 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／塩分、水滴がある場所／極端にほこりの多い場所／導電性のほこりがある場所／直射日光が当たる場所／振動や衝撃が加わる場所／屋外など。

- 発煙、発火のおそれがあります。



**ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。**

**束ねた状態で使用しないこと。**

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



**吸排気口は塞がないこと。(前面および背面)**

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリー劣化の原因となります。
- 壁から5cm以上離して設置してください。



**注意(設置・接続時)**

**重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。**

**設置作業は安定した平らな場所で行うこと。**

**作業は2人以上で行うこと。**

**なお、19 インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。**

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようにご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BN75R:約 14kg、BN150R:約 21.5kg、BN300R:約 32kg です。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。  
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



**フロントパネルの側面に手を掛けて持ち上げないこと。**

- パネルがはずれて落下するとけがなどの危険があります



**梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。**

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



**本機の「AC入力」は必ず定格入力電圧(AC100V)、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。**

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



**異常(異音・異臭)時は本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。**

**「AC入力」プラグを電源コンセントから抜くこと。**

**「AC入力」プラグは本機の近くの抜きやすい位置に配置すること。**

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



**BN75Rは12A以上、BN150Rは20A以上、BN300Rは40A以上の電流容量のある商用電源に接続すること。**

- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大でBN75Rは12A、BN150Rは20A、BN300Rは40Aの入力電流が流れます。



**BN150R/BN300Rで入力プラグまたは入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。AC入力端子と線の色を間違えないこと。**

**商用電源に接続されている状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行わないこと。**

- 入力ケーブルは、UPSの入力電流仕様を満たすものを使ってください。
- 感電、漏電の危険があります。



**指定外の方向で設置しないこと。**

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。
- 縦置き時は同梱の縦置きスタンドを使用してください。(BN150R、BN300Rのみ)



## 2 設置・接続をする

### 2-1 設置・接続時のご注意、お願い



## 注意(設置・接続時)

本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。  
テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロードを検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。



変圧トランス、絶縁トランスなどを出力側に接続しないこと。

- 過電流により本機が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合でも本機が故障または動作異常となることがあります。必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。



ラックに設置する場合は、ラックの下方段に本製品を設置すること。

- 落下するとけがをすることがあります。



取り付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。



最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



コイル(トランス、電磁石)、モーターなどの誘導性の機器を単体で接続しないこと。

- 本機が故障、または発煙・発火のおそれがあります。



## お願い

寒い場所から暖かい場所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電してください。

- ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- 本機「AC 入力」プラグを商用電源に接続することでバッテリーを充電できます。

本機を保管される場合は 4 時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は 25℃以下の環境を推奨します。  
保管温度 25℃以下の場合 6 か月以内、保管温度 40℃以下の場合 2 か月以内に 8 時間以上商用電源に接続してください。
- 保管中は本機の「電源」スイッチを切ってください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

- 本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC 入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- 商用運転時に、接続容量オーバーを頻繁に繰り返し、入力電源をそのまま出力する状態(バイパス運転)になる可能性があります。
- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験・絶縁抵抗試験をするときは、側面の「入力サージ保護 GND」のねじをはずして実施すること。

使用中は必ず「入力サージ保護 GND」のねじを取り付けてしっかり締めること。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、アース線を接続したまま耐電圧試験をされると吸収素子が破壊されます。
- 「入力サージ保護 GND」は、BN75R は右側面、BN150R/BN300R は左側面にある銀色のねじです。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

本機を発電機などの電源電圧、周波数が大きく変動する機器と組合せて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 発電機の出カ電圧・周波数が入力電圧・周波数範囲外となった場合、バックアップ運転になります。

同梱されているすべての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。

他の機器には使用しないでください。

- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

- 本機は「ECO モード」設定時および機器に異常が発生した時は、バイパス運転を行い、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

## 2 設置・接続をする

### 2-2 設置する

## 2-2 設置する

本製品は以下の設置方法が可能です。ご使用になる環境に応じて選択してください。

#### 2-2-1. ラックマウント設置

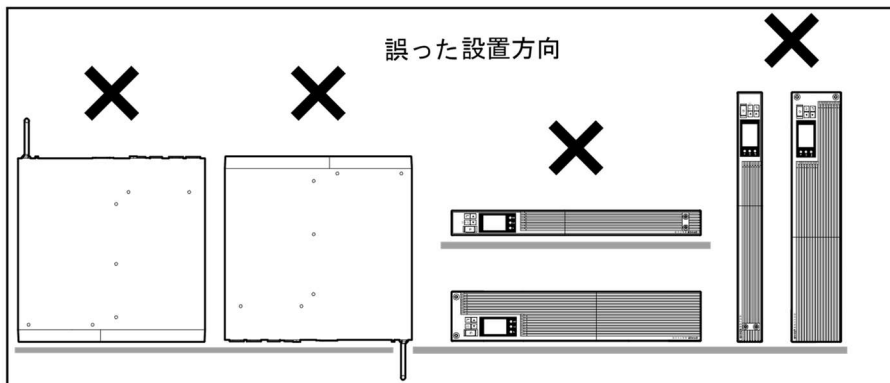
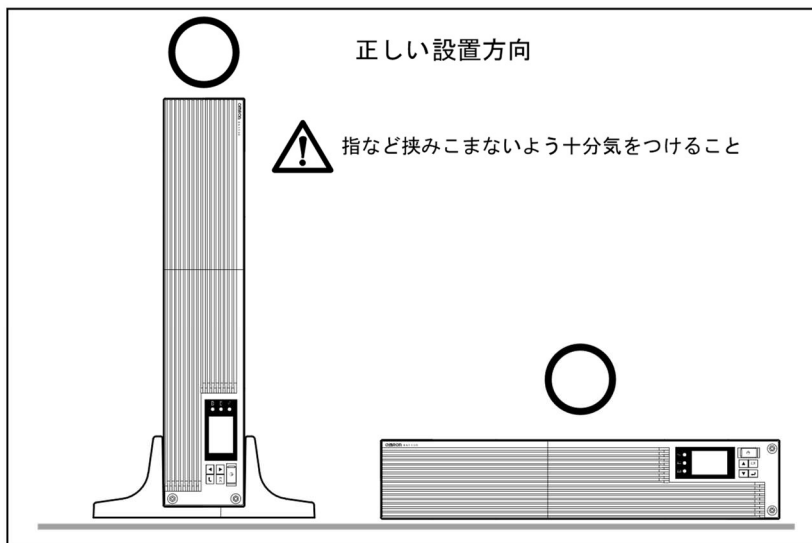
#### 2-2-2. 据置き設置

- 横置き
- 縦置き (BN150R/BN300R のみ)

下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

### お願い

本機を設置する前に、本機の製品シリアル番号を控えておいてください。  
当社へお問い合わせいただく際、製品シリアル番号が必要となります。  
製品シリアル番号は背面貼付のシール、同梱の製品シリアル番号シール、  
または LCD パネル操作で表示される情報をご覧ください。





## 2-2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバーラック)

**⚠ 注意**

ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具の両方を使用し、支持・固定すること。

- ユニットごとに個別にサポートアングルで支持してください。
- ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具を使用してください。  
サポートアングルなしで前面金具だけでは重量を支えることができません。
- 各ユニットの質量: BN75R: 約 14kg、BN150R: 約 21.5kg、BN300R: 約 32kg



ラックに設置する場合はラックの下方段に本製品を設置すること。

- 落下をするとけがをすることがあります。






取付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。



<BN75R の場合>

● 19 インチラックサポートアングル取付金具セットの梱包内容

ラックレール(伸縮式)L.....	1	
ラックレール(伸縮式)R.....	1	
耳金具.....	2	
耳金具取付け皿ねじ(M4).....	4	
EIA ラック用固定ねじ(M5).....	8	
EIA ラック用ワッシャー.....	8	

※BN75R を JIS ラックに取付けることはできません。

● ラック取付け方法

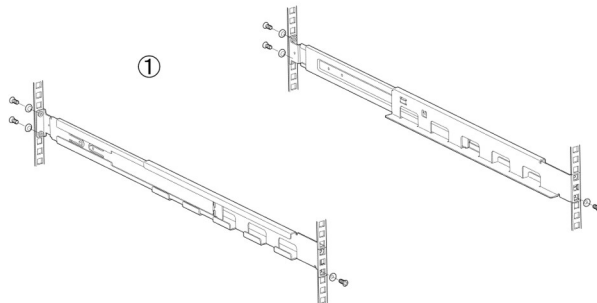
(1) 取付けるラックの奥行きに適した長さにラックレールを調整します。

ラックレールの伸縮範囲は 465~1000mm です。

ラックレールの前面(L もしくは R と表示)、および背面を付属の EIA ラック用ワッシャー6 個と

EIA ラック用固定ねじ(M5)6 本でラックを挟み込むようにしっかりと

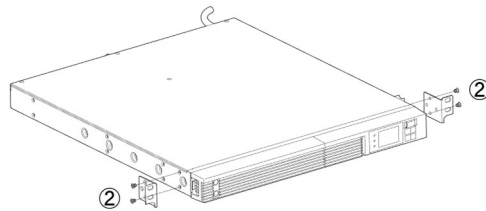
固定します。①



## 2 設置・接続をする

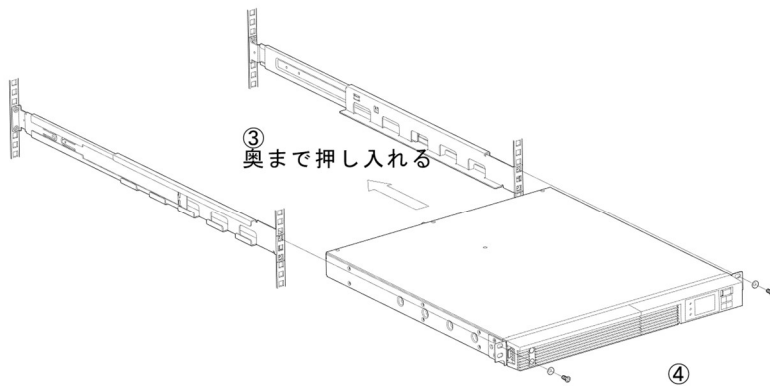
### 2-2 設置する

- (2) 耳金具を UPS の左右側面に付属の耳金具取付皿ねじ 4 本 (2 本×2) でしっかり固定します。②



特殊仕様の EIA ラックには、ラックレールを取り付けることができません。


- (3) UPS をラックレールに乗せて奥までしっかり押し入れ③、耳金具を付属の EIA ラック用ワッシャーと EIA ラック用固定ねじ (M5) 2 本でラックにしっかり固定します。④



**⚠** 必ず支持金具 (ラックレール) を使用してください。

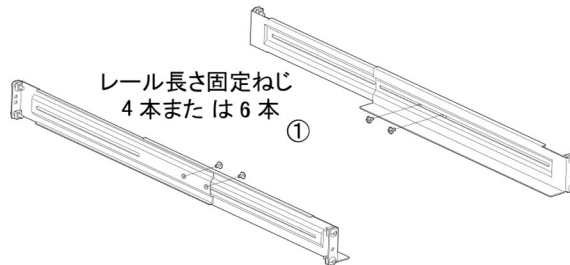
<BN150R/BN300R の場合>

●19 インチラックサポートアングル取付金具セットの梱包内容

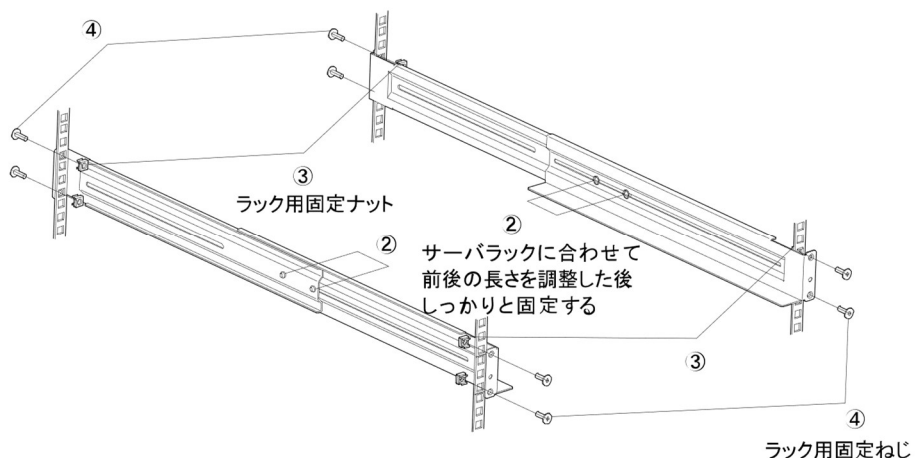
ラックレール(前)L	.....	1	
ラックレール(前)R	.....	1	
ラックレール(後)	.....	2	
耳金具	.....	2	
レール長さ固定ねじ(M4)	.....	6	
耳金具取付け皿ねじ(M4)	.....	8	
EIA/JIS ラック用固定ねじ(M5)	.....	8	
EIA ラック用固定ナット(M5)	.....	8	
耳金具用固定ねじ(M6)	.....	2	
耳金具用固定ナット(M6)	.....	2	

●ラック取付け方法

- (1) ラックレール(前)とラックレール(後)を付属のレール長さ固定ねじ(M4)4本、または6本で仮止めします。①  
ラックレール(前)は、左(L)右(R)の2種類あります。  
ラックレール(後)は、1種類です。



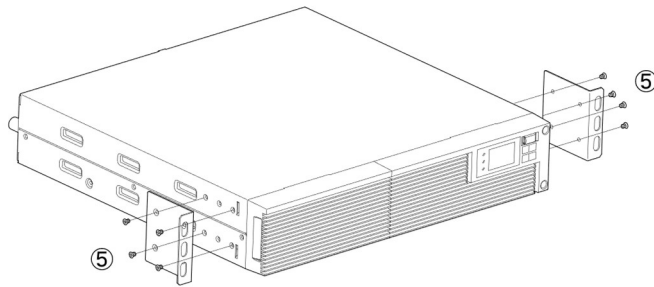
- (2) 取付けるラックに合わせてラックレールの長さを調節し、(1)で仮止めしたねじをしっかりと固定します。②  
ラックレールの伸縮範囲は465~790mmです。
- (3) EIA規格に準拠した設置をする場合は、ラックレールの前面(LもしくはRと表示)、および背面の穴位置に合わせて、付属のEIAラック用固定ナット(M5)8個をラックに取り付けます。③  
次に、EIA/JISラック用固定ねじ(M5)8本でラックにしっかりと固定します。④  
ねじ穴位置は、前後ともに一番上と一番下のねじ穴です。  
JIS規格の場合は、左右のラックレールの前1か所、後1か所をEIA/JISラック用固定皿ねじ(M5)各1本、計4本のねじを使用して固定してください。④  
ねじ穴位置は、前後とも上から2番めのねじ穴です。



## 2 設置・接続をする

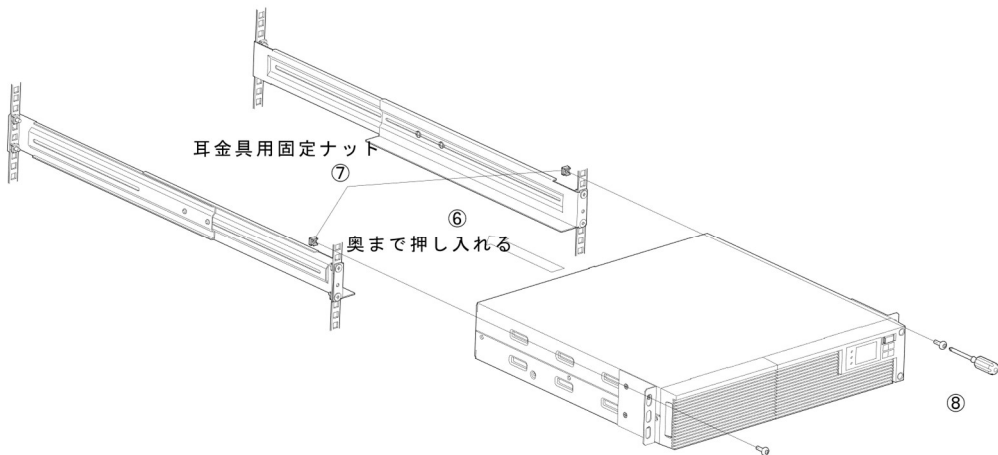
### 2-2 設置する

- (4) 耳金具を UPS の左右側面に付属の耳金具取付皿ねじ 8 本(4 本×2)でしっかり固定します。⑤



特殊仕様の EIA/JIS ラックには、ラックレールを取り付けることができません。

- (5) UPS をラックレールに乗せて奥までしっかり押し入れ⑥、耳金具の穴位置に合わせて、付属の耳金具用固定ナット 2 個をラックに取付けます。⑦  
次に耳金具用固定ねじ (M6) でラックにしっかり固定します。⑧



**⚠** 必ず支持金具(ラックレール)を使用してください。

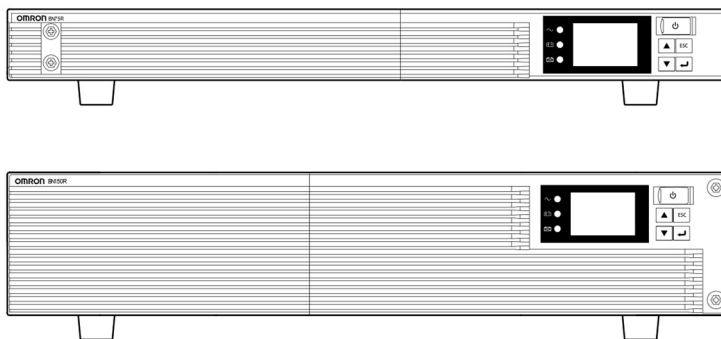
## 2-2-2 据置き設置

下図以外の設置は行わないでください。

## ●横置き

付属の横置きゴム足を製品下面の指定位置に貼付して横置きにしてください。

横置きで据置きされる場合はスベリ、落下などのないようご注意ください。

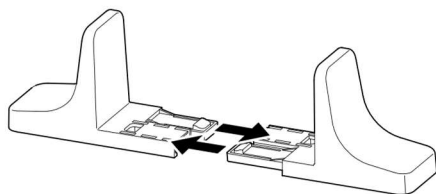


## ●縦置き (BN150R/BN300R のみ)

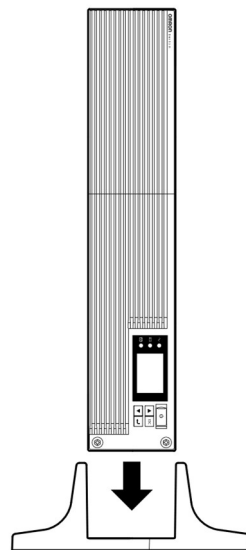
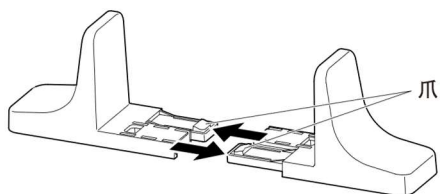
製品付属の縦置きスタンド(2 個)を使用してください。

縦置きスタンドを使用されないと UPS が振動などで倒れるおそれがあり危険です。

スタンドを組み立てます。爪を溝に合わせてカチッというまで押し込んでください。



組み立てたスタンドをバラす場合は、2 か所の爪を押さえながら左右に引いてください



## 2 設置・接続をする

### 2-3 機器の接続方法

## 2-3 機器の接続方法

### ⚠ 注意(設置・接続時)

定格電圧が AC100V 以外の機器を接続しないこと。

- 本機の定格出力電圧は AC100V です。
- 過電圧により、接続機器が故障することがあります。

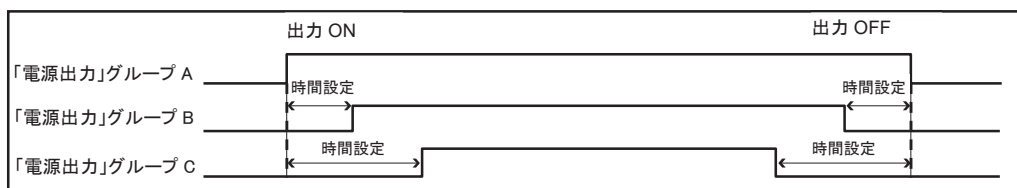


#### 「電源出力」への機器の接続

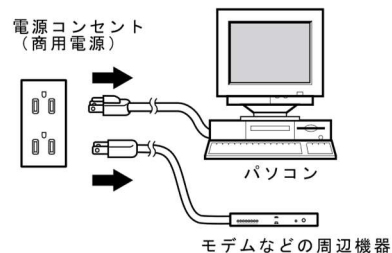
##### ●「電源出力」のグループ別制御

BN-R の出力コンセントは A、B、C の 3 グループに分かれています。

- 「電源出力」グループ B と C は、「電源出力」グループ A に対してそれぞれ独立して出力開始の時間を遅延、出力停止の時間を早くすることができます。
- 出力開始、停止の時間制御機能は、LCD パネルの設定、自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」および「SNMP/Web カード(オプション)」使用時に利用できます。
- 本機の運転中、LCD パネルの操作、および自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」から出力の ON/OFF 制御ができます。
- 「電源出力」グループ B と「電源出力」グループ C はそれぞれ独立して上記の遅延設定、ON/OFF 制御可能です。  
この機能を利用すれば、サーバ、周辺機器など起動の順序を設定できます。  
また、リモートで強制的に出力コンセントの ON/OFF 制御ができます。

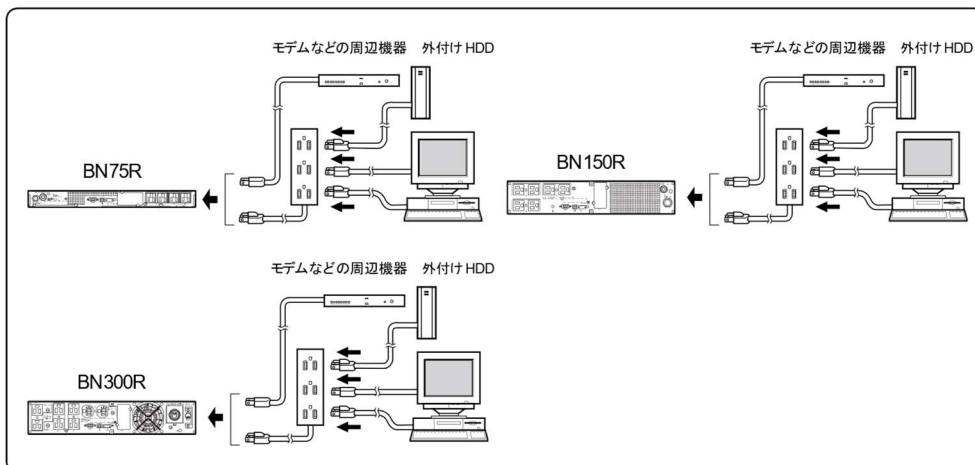


- (1) パソコン、周辺機器などバックアップする機器の「AC 入力」プラグをすべて、電源コンセント(商用電源)から抜いてください。
- (2) バックアップが必要な機器を本機の「電源出力」コンセントに接続します。
  - 本機の出力量が不足の場合はテーブルタップなどを別途ご購入のうえ、出力コンセントの増設を行ってください。

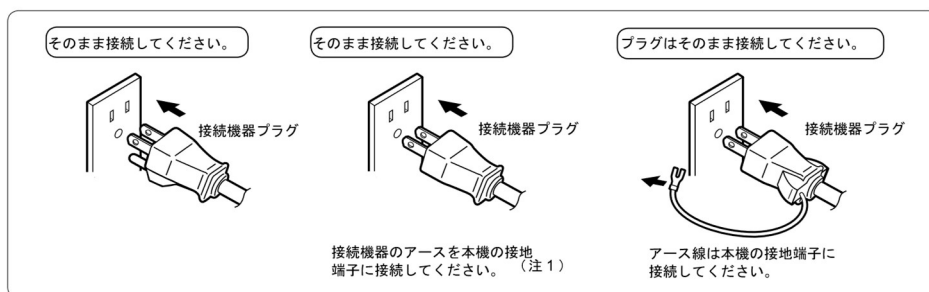


## 2 設置・接続をする

### 2-3 機器の接続方法



- ・ 接続機器の入カプラグ形状が 2P の場合でもそのまま本機の「電源出力」コンセントに接続できます(注<sup>1</sup>)。ただし入カプラグ形状が 2P でアース線が付属しているプラグの場合は、アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- ・ AC アダプタを接続される場合は接続できるスペースのある「電源出力」コンセントに接続してください。



(注 1) UL 規格適合品として使用する場合は、この接続はできません。

- (3) 自動シャットダウンソフトを使用される場合、あるいは  
接点信号入出力を使用される場合、本機とパソコンを接続ケーブルで接続します。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自然放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。  
本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。  
本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続すれば自動的にバッテリーの充電が開始され、最長 4 時間で充電が完了します。
- 「2-5 動作の確認をする」はバッテリーの充電をする前に行うことも可能です。

## 2 設置・接続をする

### 2-4 AC 入力接続

## 2-4 AC 入力接続

設置・接続が終わりましたら本機の AC 入力を商用電源に接続してください。

### 注意

本機の「AC入力」プラグは必ず定格入力電圧（AC100V）の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

- 定格電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



- ・ BN75RのAC入力プラグは変更できません。
- ・ BN150R/BN300RのAC入力プラグは使用環境に応じて変更可能です。
- ・ ご使用されるAC入力プラグと機器の最大接続容量は以下の通りです。  
機器の接続容量に応じて適切なAC入力プラグに変更してください。

型式	AC入力プラグ	電圧感度設定	接続容量の上限
BN75R	15A	低	750VA/680W
		標準/高	<b>750VA/680W</b>
BN150R	15A(出荷時接続済み)	低	1050VA/1050W
		標準/高	<b>1125VA/1125W</b>
	20A	低	1450VA/1350W
		標準/高	1500VA/1350W
BN300R	20A	低	1420VA/1420W
		標準/高	1520VA/1520W
	30A(出荷時接続済み)	低	2220VA/2220W
		標準/高	<b>2370VA/2370W</b>
	端子台接続	低	3000VA/2700W
		標準/高	3000VA/2700W

※太字は出荷時設定

### 注意

BN150Rで最大出力容量（1500VA/1350W）まで接続する場合、AC入力プラグを20A用に、BN300Rで最大出力容量（3000VA/2700W）まで接続する場合、端子台接続に変更すること。

- 上記表の各上限を超える消費電力でのご使用は、発熱、火災などの危険があります。
- 最大出力容量までご使用になる場合、上記表をご参考の上、AC入力接続方法を変更してください。
- AC入力プラグを変更した後は、LCDメニューの[セッテイ]—[ニューシュツリョクセッテイ]—[ニューリョクプラグ]（入力プラグ）の設定を変更してください。





### 2-4-1 AC入力プラグの接続

#### BN75R の接続方法

- 商用電源側コンセントは 15A 用(NEMA 5-15R)の形状のものをご用意ください。
- 付属の 3P-2P 変換アダプタを使用して 2P タイプのコンセントに接続できます。  
 ⚠️この場合はアース接地の接続を別途実施してください。

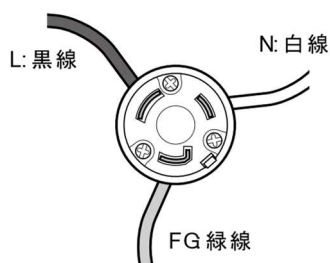
#### BN150R の接続方法

- 15A 用プラグでのご使用(製品出荷時に接続済み)
  - ー商用電源側コンセントは 15A 用(NEMA 5-15R)の形状のものをご用意ください。
  - ー付属の 3P-2P 変換アダプタを使用して 2P タイプのコンセントに接続できます。  
 ⚠️この場合はアース接地の接続を別途実施してください。
- 20A 用プラグでのご使用  
 BN150R の定格容量まで使用できます。
  - ー商用電源側コンセントは 20A 用(NEMA L5-20R)の形状のものをご用意ください。
  - ーAC 入力プラグを付属の NEMA L5-20P プラグに交換してください。



#### ●プラグの交換方法

- (1) 15A 用のプラグを取り外してください。
- (2) 付属の NEMA L5-20P プラグを下図の通りに接続してください。  
 ⚠️線の色を間違えないよう図の通りにねじ止めしてください。



#### BN300R の接続方法

- 30A 用プラグでのご使用(製品出荷時に接続済み)
  - ー商用電源側コンセントは 30A 用(NEMA L5-30R)の形状のものをご用意ください。
  - ーこのプラグのままで使用される場合は、接続機器の容量を前ページの表の容量以下に低減してください。
  - ー商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を ON 側にしてください。

## 2 設置・接続をする

### 2-4 AC 入力接続

#### 2-4-2 BN300R 入力端子台の接続

### ⚠ 注意

BN300RのAC入力を配電盤から直接接続される場合は、配線工事を電気工事業者(電気工事士第2種以上の有資格者)に依頼して行ってください。

- BN300Rで3000VA/2700Wまでご利用の場合、配線容量は42A以上が必要です。



BN300Rで入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。

AC入力端子と線の色を間違えないこと。

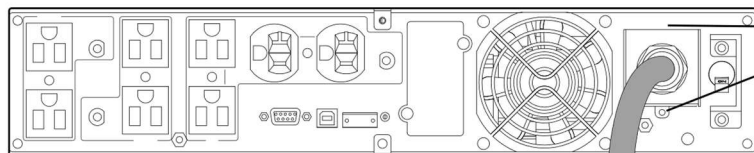
商用電源に接続されている状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行わないこと。



- 感電、漏電の危険があります。

#### BN300RのAC入力ケーブルの変更方法

(1) AC入力部の端子カバーをはずす。(ねじ2本)

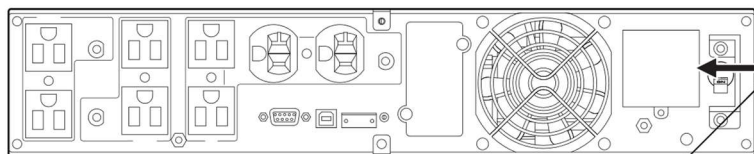


ねじをはずす。

(2) ケーブルを接続している端子(L,N,G(PE))のねじをはずし、ケーブルを取りはずす。

(3) 付属品のAC入力端子台カバーに新たに接続するケーブルを通す。

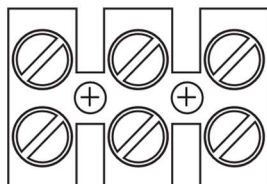
(4) 新しいケーブルをAC入力端子にねじ止める。



付属品のAC入力端子台カバーを使用。

INPUT AC100-110V 50/60Hz 1φ

PE N L

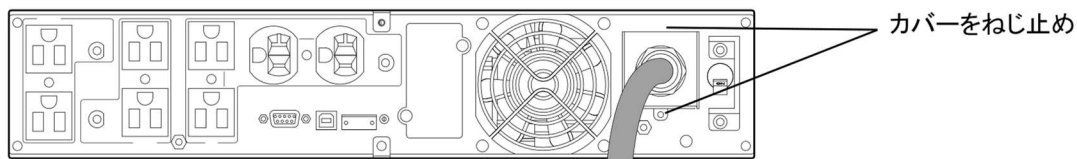


ねじ止め

接続可能電線サイズ	5.0 ~ 8.0mm <sup>2</sup>
電線被覆剥き量	5.5mm
締め付けトルク	1.355Nm (12 lb-in)
ケーブル推奨サイズ	8mm <sup>2</sup> (AWG8)

・ねじの締め付けは、1.355Nm (12 lb-in) のトルクでしっかり固定してください。

(5) AC 入力端子台カバーを本体にねじ止めする。



(6) 商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を ON 側にする。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。  
本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。
- 「2-5 動作の確認をする」はバッテリーの充電をする前に行うことも可能です。

## 2 設置・接続をする

### 2-5 動作の確認をする

## 2-5 動作の確認をする


本機の接続が終わりましたら、バックアップが正常に動作するかを確認します。

下記手順にてバックアップ運転が正常におこなわれることを確認してください。

(この動作確認は「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くことで、停電が発生した場合を模擬したものです。)


- (1) 本機の「電源」スイッチを2秒以上押し続けて、電源を入れます。  
ブザーが鳴り、現在の設定がLCDに表示されます。  
自動的に自己診断が開始されます。  
自己診断テストが正常に終了すれば商用電源による運転に切り替わり、下記の表示状態になります。  
(バッテリー電圧が低い時は自己診断テストを実施せず、ただちに商用電源による運転で出力開始します。)

○点灯 ●消灯 ⊗状態により点灯、点滅、または消灯

アイコン	説明
	「電源」スイッチ「ON」状態 正常動作中



- (2) 接続されている機器をすべて動作状態にしてください。  
(パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む)  
ただし、接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。  
本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。
- (3) この状態で本機のLCD表示、ブザー音を確認してください。  
下記と同じ状態ですか。

アイコン	
ブザー音	なし
電源出力コンセント	電源出力する(接続機器通電状態)



上記の表示になる → 動作は正常です。(4)項へ進んでください。

上記表示にならない → 異常です。「3-3 ブザー音・表示の見方」の「4. 機器に異常があるときの表示・ブザー」のいずれかの表示になります。

対処方法にしたがって処置を行ってから(4)項へ進んでください。

- (4) 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜いてください。  
バックアップ運転状態になります。


- (5) バックアップ運転状態で本機の LCD 表示、ブザー音を確認してください。  
下記の状態表示のいずれかになりますか？

アイコン	ブザー	出力	説明
	断続 4 秒間隔	ON	停電あるいはAC入力異常のためバックアップ運転中 このままバックアップ運転を続けると出力が停止します。
	断続 1 秒間隔	ON	停電あるいはAC入力異常のためバックアップ運転中 バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止します。
	なし	OFF	バッテリー容量がなくなったため、出力を停止しました。

- (5) の表示にならない→ 異常です。表示とブザーの状態を確認して、「電源」スイッチを 2 秒以上押し続けて、一度電源を切ってください。
- ・「3-3 ブザー音・表示の見方」の「4. 機器に異常がある時の表示・ブザー」の表示の場合は、対処方法にしたがって処置を行ってから再度(1)項へ戻ってください。
  - ・まったくバックアップせず本機と接続機器が停止した場合はバッテリーの充電不足が考えられます。  
「AC入力」プラグを商用電源に接続し、十分にバッテリーの充電を行ってから、再度(4)項へ戻ってください。
  - ・上記 2 点を確認しても解決しない場合はオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご相談ください。

参照 LCD メニューの [セッテイ] - [ローカルセッテイ] - [ブザーセッテイ] (ブザー設定) で、ブザー ON/OFF の設定ができます。

- (6) 「AC入力」プラグを、再び商用電源に接続してください。  
状態表示が元の状態に戻り、ブザー音が消えます。  
(下図の状態になります)

アイコン	説明
	「電源」スイッチ「ON」状態 正常動作中

以上で動作の確認は終了です。

以上で設置・接続はすべて完了しました。

## 2 設置・接続をする

### 2-6 バッテリーの充電

## 2-6 バッテリーの充電

「AC入力」プラグを商用電源に接続することにより自動的にバッテリーの充電が開始されます。  
(「電源」スイッチが「入」「切」どちらの状態でも充電します)  
4時間で充電が完了します。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。
- 次の「2-7バックアップ時間の初期値測定」を実施されない場合は、このまま「3 本機の操作について」に移っていただけます。

## 2-7 バックアップ時間の初期値測定

- お客様のご使用環境での本機のバックアップ時間初期値を測定しておく、バッテリーの点検を行ったり自動シャットダウンソフトの設定値を決める際の目安になります。

参照 ▶ 「5 バックアップ時間を測定する」

## 2-8 バッテリーの再充電

バックアップ時間を測定された後は、バッテリーが完全に放電していますのでご使用開始に際し再充電が必要です。

- 充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります。

(充電開始直後に停電が発生した場合、すぐにバックアップが停止してしまいます。)

参照 ▶ 「2-6 バッテリーの充電」の要領で充電を行ってください。

以上で運転開始前の準備がすべて完了しました。

## 3 本機の操作について

### 3-1 運転時のご注意、お願い

運転時には下記の点にご注意ください。

#### 警告

本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。

- 前面パネルの表示がすべて消えていても出力は継続します。
- 前面の「電源」スイッチでの出力の ON/OFF 操作はできなくなります。出力を停止したい場合は、商用電源の供給元を停止するか、AC入力プラグを電源コンセントから抜いてください。



#### 注意(使用時)

濡らしたり、水をかけないこと。落下した場合は使用を中止すること。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合、落下した場合はすぐに本機の使用を中止し、AC入力プラグを電源コンセントから抜いて、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。



寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると液もれにより、火災、感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
25°C	5年
30°C	4年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり保証値ではありません。



「AC入力」プラグ、入力端子台および電源出力コンセントのほこりはときどき乾いた布でふき取ること。

- 長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。
- ご使用環境によっては、バッテリーから水素ガスが発生する場合があります、破裂または爆発の原因となることがあります。本機周辺の換気を行ってください。



変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

(「AC入力」プラグを電源コンセントから抜くこと。)

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は異常発生時にすぐに「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜ける状態にしておいてください。



## 3 本機の操作について

### 3-1 運転時のご注意、お願い

#### 注意(使用時)

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



上に 25kg 以上のものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。



本機の上に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしないでください。

- 本機の故障だけでなく、転倒などでけがをする危険があります。



#### お願い

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 本機は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

#### 解説

##### 日常の運用方法について

- 本機の「電源」スイッチは入れたまま(運転状態)でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用を行ってください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。
- 本機の「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことでバッテリーを充電できます。

##### バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了(データをセーブするなどの処置)するようにしてください。

##### 再起動について

- 停電中にバッテリーが放電しきってしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、出力を開始します。接続機器を動作させたくないときは、本機のLCDメニュー内の[セッテイ]—[キドウセッテイ]—[ジドウサイキドウ](自動再起動)で無効に設定する、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

##### 自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時に、プレーカーなどを使用し商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。またこの期間はバッテリーが交換時期になると約半分以下になります。3か月を超えた場合、商用電源を供給し、「電源」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが交換時期となった場合、運転を開始できないことがあります。この場合は、「6-2バッテリーの交換」に従い、バッテリー交換を行ってください。



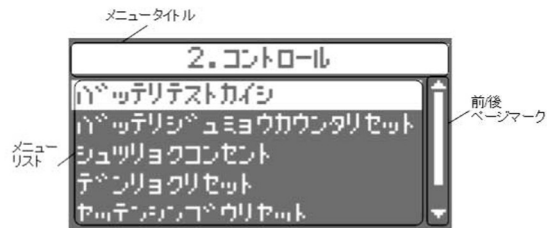
## 3-2 運転・停止方法と基本的な動作

前面の操作表示部に UPS の状態表示や UPS 設定変更メニューが表示されます。

### ●UPS の状態表示(ステータス画面)

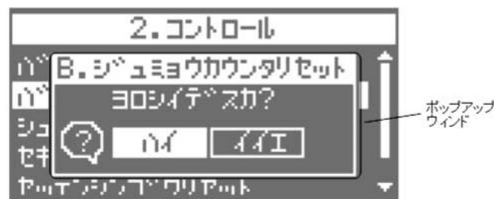


### ●UPS 設定変更のメニュー画面



※選択された項目は反転表示されます。

### ●ポップアップウインド




※追加の情報や確認が必要な場合に表示されます。

### メニュー画面の基本操作

スイッチ	内容
[▲] [▼]	選択カーソルの上下移動、値の増減
[↵]	メニュー選択、値の決定
[ESC]	メニューに戻る、キャンセル


### 3 本機の操作について


#### 3-2 運転・停止方法と基本的な動作

- 「電源」スイッチが「切」の状態、商用電源に接続し、本機に商用電源が供給された時
  - ・アイコンが「」となります。
  - ・電源出力停止。
  - ・バッテリーは自動充電を開始します。
  - ・LCD 画面にスタンバイ画面が表示されます。

#### ●運転開始方法

**操作** 本機の「電源」スイッチを 2 秒以上押し続けてください。

- ・数秒後に出力を開始します。
- ・アイコンが、「」となり、約 10 秒間バックアップ運転に移行し、自己診断テストを実行します。
- ・バッテリー電圧が低い時は自己診断テストをしません。バッテリーを充電した後に自動的に自己診断テストを実施します。
- ・自己診断テストが正常に終了すれば、通常運転状態になります。



アイコン	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
	なし	ON	ON	商用モード	—

- ・自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに通常運転状態になります。
- ・運転中は、バッテリーは自動充電されます。

#### ●停電時の動作

- ・停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバックアップ運転に切り替わり、バッテリーからの電力で電源出力を継続します。
- ・状態表示およびブザーの断続鳴動でバックアップ運転を知らせます。

**参照** LCD メニューの [セッテイ] - [ローカルセッテイ] - [ブザーセッテイ] (ブザー設定) で、ブザー ON/OFF の設定ができます。

アイコン	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
	断続 4秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいはAC入力異常のためバックアップ運転このままバックアップ運転を続けると、バッテリー残量がなくなった時に出力が停止します。	ご使用の接続機器をシャットダウン(終了処理)して、停止してください。
	断続 1秒間隔	ON	OFF 放電中		
	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリー容量がなくなったため、出力を停止しました。	バッテリーを充電してください。

## ● 停電が回復した時の動作

- 本機から電源出力している間に停電/入力電源異常が回復した時は、自動的に商用電源による出力に戻ります。消費したバッテリーは充電が開始されます。
  - バッテリーの電力を使い切って電源出力が停止したあと、停電/入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリーは充電が開始されます。
- 参照** > LCD メニューの [セッテイ] - [キトウセッテイ] - [ジトウサイキトウ] (自動再起動) で、自動再起動の有効/無効が設定できます。

## ● 運轉停止方法

- 操作** 本機の「電源」スイッチを 3 秒以上押し続けると電源スイッチがオフになります。
- 本機からの電源出力が停止します。

アイコン	ブザー	出力	充電	説明
	なし	OFF	ON	「電源」スイッチオフ状態

- 「電源」スイッチを切っても、商用電源から AC が供給されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。

### 3 本機の操作について

#### 3-3 ブザー音とLCD表示の見方

## 3-3 ブザー音とLCD表示の見方

No.	アイコン	モード	ブザー	説明	対処方法
1		スタンバイモード	なし	「電源」スイッチオフ状態です。電源出力は停止中です。	—
2		商用モード	なし	「電源」スイッチオン状態です。正常動作中です。	—
3		AVRモード	なし	出力電圧調整モードで正常動作中です。	—
4		ECOモード	なし	エコモードで正常動作中です。	—
5		バイパスモード	なし	バイパスモードで、商用電源をそのまま出力中です。	表示されるメッセージを参照してください。
6		テストモード	なし	自己診断テスト中です。	テストで正常と判定された場合は、商用モードに戻ります。
7		UPSイベント	なし	警告(アラーム)が発生しています。	表示されるメッセージを参照してください。
8		バックアップ 運転	断続4秒	停電あるいはAC入力異常のためバックアップ運転中です。	ご使用の接続機器をシャットダウン(終了処理)して、停止してください。
		バッテリーロー	断続1秒	バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止します。	
9		バッテリー エンプティ	なし	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しました。	バッテリーを充電してください。
		バッテリー 未接続	断続2秒	バッテリーが接続されていません。または、バッテリーに著しい劣化が検出されました。	バッテリーを接続してください。バッテリーが接続された状態で、この表示が発生した場合は、バッテリーを交換してください。
10		バッテリー劣化	断続2秒	自己診断テストでバッテリー劣化と判定された、もしくはバッテリー寿命カウンタがカウントアップしました。	バッテリーを交換してください。
		バッテリー寿命			
11		過負荷	断続0.5秒	接続機器の負荷容量が多すぎます。	接続負荷を減らしてください。
12		UPS故障	連続	故障が発生しています。	表示されるメッセージを参照してください。

●「負荷/バッテリー」レベルメータについて

負荷レベルメータは、接続されている機器の接続容量をパーセントで表示します。  
最大接続容量を100%として表示します。

(AC入力プラグ設定により最大接続容量は異なります)

参照▶ 「2-4 AC入力の接続」

[例]

- BN75R: 750VA/680Wを100%として表示
- BN150R: 1500VA/1350Wを100%として表示  
(AC入力プラグ設定“20A”、電圧感度設定“標準”時)
- BN300R: 3000VA/2700Wを100%として表示  
(AC入力プラグ設定“端子台”時)



バッテリーレベルメータは、バッテリー残量をパーセントで表示します。



## 4 本機の機能について

### 4-1 ブザー音を一時停止する

# 4 本機の機能について

## 4-1 ブザー音を一時停止する

ブザーが鳴動時に「ESC」スイッチを 0.5 秒以上押すとブザーが一時的に停止します。



## 4-2 自己診断テストの説明

このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化のテストを行います。  
下記手順にて本機内部の回路故障、バッテリー交換の要否が確認できます。  
このテストは、「電源」スイッチを入れた時、もしくは自動で実施されます。(お客様で特別な操作は不要です)  
自動実行する場合のテスト周期は、「AC 入力」を商用電源に接続し、通電開始してから 4 週間に 1 回の間隔です。「電源」スイッチが切られている場合は、テストは実施されません。

バッテリーの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐには実行されません。  
充電完了後、自動的に実施します。

- (1) 自己診断テストの実施によって、自動的にバックアップ運転を開始します。(ブザーは鳴りません)  
テストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。
- (2) LCD 画面にエラーのメッセージが表示された場合  
前記の対処方法にしたがって処置を行ってください。

※ このテストは自動シャットダウンソフトからも行えます。  
詳細の説明は自動シャットダウンソフトのオンラインヘルプをご覧ください。

## 4-3 バッテリー寿命カウンタ機能の説明

バッテリーが交換時期に到達したら、LCD 表示とブザーでお知らせする機能です。  
バッテリー寿命カウンタは工場出荷時より商用電源が供給されている間カウントされます。  
(バッテリーの周囲温度が 25°C より高い場合は、カウントは加速されます。)  
バッテリーが交換時期に到達した場合は、バッテリー交換ランプが点灯して、ブザーが鳴動します。

※ バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタをリセットしてください。  
リセットは LCD メニューの [コントロール] - [バッテリージュミョウカウンタリセット]  
(バッテリー寿命カウンタリセット) より行えます。

## 4-4 LCD メニューについて

- 表示言語は、日本語(工場出荷時)または英語から選択できます。
- メニュータイプの設定により、表示されるメニューが異なります。  
スタンダードタイプとアドバンスタイプがあります。  
スタンダードタイプ(工場出荷時)は、一般向けです。  
アドバンスタイプは、管理者向けです。

- 表示言語を、英語にしたいときは、[セッテイ]－[ローカルセッテイ]－[ヒョウジケンゴ]にて設定してください。
- アドバンスタイプのメニューを表示したいときは、[セッテイ]－[ローカルセッテイ]－[メニュータイプ]にて設定してください。

☆:UPS が停止中のみ表示されます。運転中は表示されません。

	メニュー	説明	値	メニュータイプ
ソクテイ (測定) Measurements	フカヨウリョウ (負荷容量) Load Meter	負荷の容量をVAとWで表示します。	負荷容量: 0 ~ xxxx W 0 ~ xxxx VA	スタンダード
	ニウシュツリョク (入出力) Input/Output Meter	UPSの入出力電圧/周波数を表示します。	入出力: 入力:0 ~ xxx.x V、0 ~ xx.x Hz 出力:0 ~ xxx.x V、0 ~ xx.x Hz	
	バッテリー Battery Meter	内蔵バッテリーの状態を表示します。	バッテリー: 充電率:0 ~ 100% 電圧:0.0 ~ xxx.xV ランタイム(バックアップ時間): 0.0 ~ xxx min	
	ジュミョウ (寿命) Longevity	UPSの推定寿命を5段階で表示します。	寿命: UPS:5段階の□レベル表示 バッテリー:5段階の□レベル表示	アドバンス
	セキサンデンリョク (積算電力) Cumulat. Power Usage	現在までに使用した電力量と経過日数を表示します。	積算電力: トータル:0 ~ xxxx kWh 日数::0 ~ xxxx 日	
	ヘイクンデンリョク (平均電力) Average Power Usage	現在までに使用した電力量の平均を表示します。	平均電力: 0 ~ xxxx Wh	

## 4 本機の機能について

### 4-4 LCDメニューについて

	メニュー	説明	値	メニュータイプ	
コントロール Control	ジコシندانテストカイン (自己診断テスト開始) Start Function Test	自己診断、バッテリー劣化の簡易テストを行い、結果を表示します。	自己診断テスト開始 ・バッテリーテスト合格 ・バッテリーテスト不合格 (バッテリー未接続、バッテリー劣化) ・バッテリーテストキャンセル (バッテリーモード運転中、充電不十分)	スタンダード	
	バッテリージュミョウカウンタリセット (バッテリー寿命カウンタリセットカウンタリセット)	バッテリーの寿命カウンタをリセットします。	バッテリー寿命カウンタリセット実行		
	シュツリョクコンセン (出力コンセント) Load Segments	出力コンセントグループB/CのON/OFFを制御します。	出力コンセントB: ON/OFF 出力コンセントC: ON/OFF	アドバンス	
	セキサンデンリョクリセット (積算電力リセット) Reset Power Usage	積算電力/平均電力の値をリセットします。	積算電力リセット実行		
	セッテンシンゴウテスト (接点信号テスト) ☆ Dry Contact Test	接点信号入出力カード(SC07/SC08)使用時に、接点のテストを実施します。	接点信号テスト実行 BU: ON/OFF BL: ON/OFF TR: ON/OFF WB: ON/OFF		
	セツテイシヨキカ(設定初期化) ☆ Initialization	UPSの各設定を工場出荷時に戻します。	設定初期化実行		
	メンテナンスバイパス Maintenance Bypass	強制的にバイパスモードに移行します。	メンテナンスバイパス実行		
セッテイ(設定) Setting	ローカルセッテイ (ローカル設定) Local Setting	ゲンゴ(表示言語) Language	LCDCIに表示する言語を設定します。	表示言語: 日本語(工場出荷時)、英語	スタンダード
	LCDセッテイ (LCD設定) LCD Setting	LCDのコントラストを変更します。	LCD設定 (コントラストバー)		
	LCDオートオフ LCD Auto OFF	LCDが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	LCDオートオフ: 常時オン、オートオフ30秒(工場出荷時)、 オートオフ3分		
	LCDテスト LCD Test	LCDとLEDが点灯することを確認します。	LCDテスト実行		
	ブザーセッテイ (ブザー設定) Audible Alarm	ブザーが鳴る条件を設定します	ブザー設定: オン(工場出荷時)、 バックアップ実行時オフ、 常時オフ		
	カレンダーセッテイ (カレンダー設定) Calendar Setting	UPSのカレンダー情報を設定します。	カレンダー設定: 年、月、日、時、分		
	UPSシヨウカインビ (UPS使用開始日) UPS Installation	UPSの使用開始日を設定します。	UPS使用開始日: 年、月、日 (工場出荷時: 2000/1/1)		
	UPSジュミョウカウンタ (UPS寿命カウンタ) UPS Life Count	UPS寿命カウンタの動作を設定します。	UPS寿命カウンタ: 有効(工場出荷時)、無効		
	メニュータイプ Menu Type	表示するメニューを選択します。「スタンダード」にすると、よく使用される項目のみが表示されます。	メニュータイプ: スタンダード(工場出荷時)、 アドバンス		



## 4 本機の機能について

### 4-4 LCDメニューについて

	メニュー	説明	値	メニュータイプ		
セッテイ (設定) Setting	In/Out セッテイ (In/Out 設定) In/Out Settings	シュトリヨクデンアツ (出力電圧)☆ Output Voltage	出力電圧を確認しま す。	出力電圧: 100V(固定)	スタンダード	
		ニューリヨクデンアツカン ド (入力電圧感度)☆ AC I/P Sensitivity	入力感度を設定しま す。(注1)	入力電圧感度: 標準(工場出荷時)、 低感度、高感度		
		ニューリヨクプラグ (入力プラグ)☆ Input Plug	入力プラグを交換す る場合に設定します。	入力プラグ: 15A、20A、30A、 端子台/50A(機種による) (工場出荷時:BN75R/BN150R: 15A、BN300R:30A)		
		エコモード☆ ECO Mode	エコモードを有効とす るかどうかを設定しま す。	エコモード: 無効(工場出荷時)、有効		アドバンス
		シュウハスウレンジ (周波数レンジ)☆ Frequency Range	周波数範囲モードを 切り換えます。	周波数レンジ: ノーマルレンジ(工場出荷時)、 ワイドレンジ		
		キリカエカンド (切換え感度)☆ Transfer Sensitivity	バックアップに切り換 える感度を設定しま す。	切換え感度: 標準(工場出荷時)、高感度		
キドウ セッテイ (起動設 定) Boot Settings	ジドウサイキドウ (自動再起動) Auto Reboot	停電からの自動再起 動を設定します。	自動再起動: 有効(工場出荷時)、無効	スタンダード		
	コールドスタート Cold Start	「AC入力」がなくても UPSを起動できる 「コールドスタート」機 能を有効にするかど うか設定します。	コールドスタート: 無効(工場出荷時)、有効			
	サイキドウチエンジカン (再起動遅延時間) Reboot Delay Time	停電から復帰する際 の遅延時間を設定し ます。	再起動遅延時間: 0 ~ 999 秒 (工場出荷時:9秒)	アドバンス		
	コンセントチエンジカン (コンセント遅延時間) Load Segments	コンセントグループ B/Cの再起動遅延時 間をグループAより遅 らせたい場合に設定 します。	コンセント遅延時間: ON 遅延OUT B:0 ~ 1800s ON 遅延OUT C:0 ~ 1800s OFF 遅延OUT B:0 ~ 1800s OFF 遅延OUT C:0 ~ 1800s (工場出荷時:上記すべて0s)			
	サイキドウバッテリーレ ベル (再起動バッテリーレ ベル) Reboot Batt.level	再起動時の 배터리 充電量を設定します。	再起動バッテリーレ ベル: 0 ~ 100%(工場出荷時:0%)			
	ジドウサイキドウモード (自動再起動モード) Auto Reboot Mode	電源スイッチの動作 モードを切り換えます 。	電源SWオフモード: UPSシャットダウン(工場出荷時)、 UPS + PCシャットダウン			
	デンゲンSWオフモード (電源スイッチオフモ ード) Power SW OFF Mode	電源スイッチの動作 モードを切り換えます 。	電源SWオフモード: UPSシャットダウン(工場出荷時)、 UPS + PCシャットダウン			
バッテリ セッテイ (バッテ リ設定) Battery Settings	バッテリテスト (自己診断テスト) Function Test	自己診断テストを実 施する間隔を設定し ます。	バッテリテスト: 起動時/4週間ごと(工場出荷時)、 起動時、4週間ごと、無効	スタンダード		
	バッテリジュミョウカウ ンタ (バッテリー寿命カウ ンタ) Batt.life Counter	バッテリー寿命を知ら せるかどうかを設定し ます。(注2)	バッテリー寿命カウ ンタ: 有効(工場出荷時)、無効			
	バッテリコウカンビ (バッテリー交換日) Battery Installation	バッテリー交換日を 設定します。	バッテリー交換日: 年、月、日 (工場出荷時:2000/1/1)			

## 4 本機の機能について

### 4-4 LCD メニューについて

	メニュー		説明	値	メニュータイプ
セッテイ (設定) Setting	バッテリー セッテイ (バッテリー 設定) Battery Settings	サイダイバック アップジカン (最大バックアップ時間) ☆ Max.backupTime	指定時間後にUPSの出力 を停止させる設定をしま す。	最大バックアップ時間: 無効(工場出荷時) 有効:10~999秒 有効:1~9999分	アドバンス
		バッテリーローレベル ☆ Low Battery Warning	バッテリーローを検出するレ ベルを設定します	バッテリーローレベル: 初期設定(工事出荷時)、 レベル変更:0 ~ 100%	
	セッテンシ ンゴウ (接点信 号) Dry Contact	BSシンゴウウコウハン イ (BS信号有効範囲) ☆ BSignal ValidRange	BS信号を受付ける条件を 設定します。	BS信号有効範囲: 常時有効(工場出荷時)、 バックアップ時のみ	
		BSシンゴウチエンジカン (BS信号遅延時間) BSignal Delay Time	BS信号の遅延時間を設 定します。	BS信号遅延時間: 0~9000秒、 または9999秒	
		BUシンゴウチエンジカン (BU信号遅延時間) BUsignal Delay Time	BU信号の遅延時間を設 定します。	BU信号遅延時間: 0~180秒 (工場出荷時:0秒)	
		セッテンシンゴウロンリ (接点信号論理) Dry Contact Logic	接点信号の論理を設定し ます。	接点信号論理: BU、BL、TR、WB: ノーマル(工場出荷時) /リバース	
リモートON/OFFロンリ (リモートON/OFF論理) ☆ Remote ON/OFF Logic	リモート信号による出力動 作有無を設定します。 工場出荷時からオープン 時OFF変更することにより 出力動作有のリモート ON/OFF状態にて出力 無、また出力動作無のリ モートON/OFF状態にて出 力有になります。	リモートON/OFF論理: ショート時OFF (工場出荷時)、 オープン時OFF、無効			
キシュジョ ウホウ (機種情 報) Identificat ion	キシュメイ(機種名) Type	UPSとバッテリーパックの名 称を表示します。	機種名: UPS:型式、バッテリー:型式	スタンダード	
	セイゾウバンゴウ(製造番号) Serial Number	UPSの製造番号を表示し ます。	製造番号: S/N:xxxxxxxxxxxxxG		
ログ データ Log	ファームウェアバージョン Firmware Version	UPSのファームウェアパー ジョンを表示します。	ファームウェアバージョン: UPS:M:x.xx USB:S:x.xx	アドバンス	
	メモ Memorandum	英数20文字の情報を閲覧 できます。	—		
ログ データ Log	コショウログ(故障ログ) Fault Log	過去に発生した故障ログ (発生時刻と故障内容)を 10件まで表示します。	故障ログ: 年/月/日/時/分、 メッセージ		
	シャットダウンログ Shutdown Log	UPSのシャットダウン理由 を10件まで表示します。	シャットダウンログ: 年/月/日/時/分、 メッセージ		
	テイデンログ(停電ログ) AC input Log	過去に発生したイベントロ グを10件まで表示します。	停電ログ: 年/月/日/時/分、 メッセージ		
	ログデータリセット Reset All Log Data	各ログデータをクリアしま す。	ALLログデータリセット実 行		

注 1:「参考資料 A. 仕様 入力 入力電圧範囲」をご参照ください

注 2:「6-1 バッテリーの点検」をご参照ください

## 5 バックアップ時間を測定する

### 5-1 バックアップ時間の測定方法

ご購入後、初めて測定したバックアップ時間が「バックアップ時間の初期値」となります。今後バッテリー点検を行う際、「バックアップ時間の初期値」を測定しておくことで、より正確にバッテリーの劣化状態を判断することができます。

(1)「AC入力」プラグを商用電源に接続、4時間以上充電します。

(2)すべての接続機器の電源を入れてください。

(3)「AC入力」プラグを抜き、バックアップ時間を測定してください。

バックアップ動作のままで本機が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

本機の電源出力はバッテリーが放電すると停止します。接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で実施してください。電源が停止した場合に、故障など発生するおそれがある場合は、実施しないでください。

### 5-2 バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。

接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にしてください。(バッテリーの点検をする際も同様です)

(1) 接続機器の総容量(消費電力)を、W(ワット)に統一します。

接続機器の表示はパソコン本体、ディスプレイ裏面を確認してください。

表示方法としては、VA(ボルト・アンペア)表示、A(アンペア)表示、W(ワット)表示の3種類があります。

例 1) AC100V, 50/60Hz, 145W  
 例 2) AC100V, 50/60Hz, 1.8A  
 例 3) AC100V, 50/60Hz, 150VA

表記	値
VA	$W = VA \times \text{力率}$
A	$W = A \times 100 \times \text{力率}$

VA、Aと表記されている機器の場合はWに換算してください。換算方法は機器の表記に上表の値をかけてください。

(力率が不明な場合は“1”としてください。通常、力率は0.6~1の間の値です)

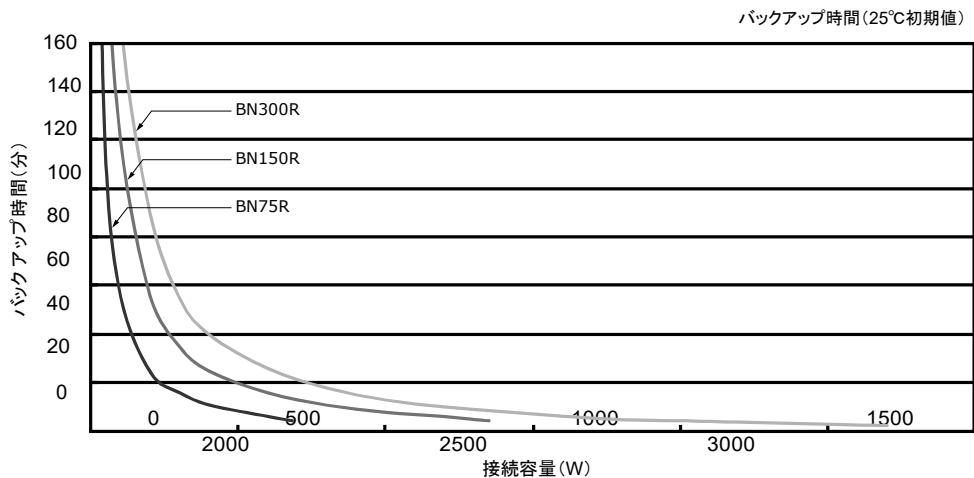
(2) Wに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めてください。

(3) 下記グラフから接続機器の総容量でのバックアップ時間初期値を算出してください。

- バックアップ時間グラフ(新品初期値、25°Cでの特性グラフです。)  
 温度が低いとバックアップ時間は下記グラフ(表)の値より短くなります。
- バックアップ時間は、接続機器の容量が小さいと長くなります。

## 5 バックアップ時間を測定する

### 5-2 バックアップ時間の目安



#### バックアップ時間表

時間単位: (分)

##### BN75R

接続容量(W)	20	50	100	200	300	400	600	680
バックアップ時間(分)	250	110	55	24	15.5	10.5	5.8	4

##### BN150R

接続容量(W)	20	50	100	200	300	400	600	800	1000	1200	1350
バックアップ時間(分)	480	215	120	56	35	25	16	11	8	6.2	4.5




##### BN300R

接続容量(W)	20	50	100	200	300	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2100	2700
バックアップ時間(分)	600	300	170	90	55	40	26	18	13	10.2	8.2	6.4	5	4.5	4.2	2.5




※ 本バックアップ時間は、あくまでも参考値となります。バッテリーの寿命および外部環境(温度など)によって変わります。

## 6 保守・点検について

### ⚠ 警告

<b>分解、修理、改造しないこと。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電したり、火災を起こす危険があります。</li> </ul>	
<b>接続機器の保守を行う場合は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき商用入力を停止しても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。</li> </ul>	
<b>バッテリー接続コネクタに金属物を挿入しないこと。 コネクタの端子間をショートしないこと。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電するおそれがあります。</li> </ul>	

### ⚠ 注意(保守時)

<b>内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 失明したり、やけどをする危険があります。</li> <li>● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。</li> </ul>	
<b>本機を火の中に投棄しないこと。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。</li> </ul>	
<b>本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電するおそれがあります。</li> </ul>	

## 6-1 バッテリーの点検

本機に使用しているバッテリーは寿命があります。  
(保存/使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。)  
寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

### 1. バッテリーの期待寿命(※保証値ではありません)

周囲温度	バッテリー期待寿命
25°C	5年
30°C	4年

### 2. バッテリーの点検方法

バッテリーの点検方法は2種類あります。

- 自己診断テストを行う。「4-2 自己診断テストの説明」
- バックアップ時間を測定する。「5-1 バックアップ時間の測定方法」  
バックアップ時間を測定すると、より正確にバッテリー寿命を判定することができます。  
測定した値が「バックアップ時間の初期値」あるいは「バックアップ時間の目安」のグラフで求められる値の半分以下になった場合はバッテリーを交換してください。
- お客様で測定された「バックアップ時間の初期値」と現在のバックアップ時間を比較される場合、本機に接続する機器の初期値を測定した時と同一の容量にしないと正確に判定できません。

## 6 保守・点検について

### 6-2 バッテリーの交換

#### 3. バッテリー点検(バックアップ時間の測定)の目安、頻度

周囲温度	6 か月ごとの点検	1 か月ごとの点検
25°C	購入時から4年まで	使用開始から4年以降
30°C	購入時から3年まで	使用開始から3年以降
40°C	購入時から1年まで	使用開始から1年以降

※ バッテリーは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなります。

## 6-2 バッテリーの交換

本機が、電源オフ状態(電源出力停止中)でも、電源オン状態(電源出力中)でもバッテリーの交換が可能です。

### ⚠ 注意

本機をUL規格適合品としてご使用される場合は、バッテリー交換作業はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、もしくはその人の監督の下で行ってください。

- ※ 「バッテリー交換」LED が点灯／点滅表示されて、ブザーが鳴動している場合は、「ESC」スイッチを0.5秒押すことでブザー音を停止させることができます。(「バッテリー交換」LEDの点灯／点滅は消えません。)
- ※ 運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
- ※ バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。出力が停止します。

## ⚠ 警告

指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式: BN75R 交換用バッテリーパック:BNB75R 1個  
BN150R 交換用バッテリーパック:BNB150R 1個  
BN300R 交換用バッテリーパック:BNB300R 1個



## ⚠ 注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。

可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。





- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



## ⚠ 注意 (バッテリー交換時)

<p><b>新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 希硫酸が漏れたりすることがあります。</li> </ul>	
<p><b>バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 失明したり、やけどをする危険があります。</li> <li>● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。</li> </ul>	
<p><b>バッテリーの分解、改造をしないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。</li> </ul>	
<p><b>バッテリーを金属物でショートさせないこと。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電、発火、やけどのおそれがあります。</li> <li>● 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。</li> </ul>	

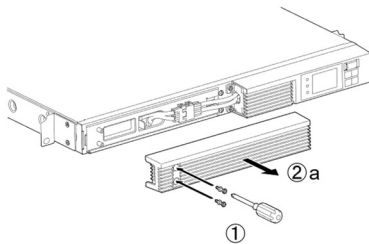
- この製品には、鉛バッテリーを使用しています。  
鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。  
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



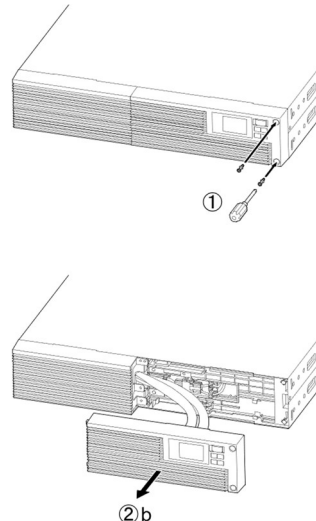
### ■ バッテリーの交換方法

- 本機のフロントパネルにあるねじ(BN75Rは左側、BN150R/BN300Rは右側)2個をドライバで反時計回りに緩めます。①  
BN75Rはフロントパネル左側を手前に引いて外します。②a  
BN150R/BN300Rはフロントパネル右側を手前に引いて外します。  
LCDのケーブルを引っ張ったりコネクタを外したりしないようご注意ください。②b

<BN75R>



<BN150R/BN300R>



## ⚠ 注意

LCD のケーブルを引っ張ったりコネクタを外したりしないでください。

## 6 保守・点検について

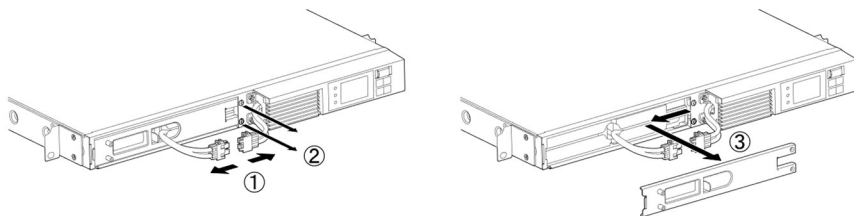
### 6-2 バッテリーの交換

#### 2. <BN75R>

バッテリーコネクタを左右に引いて外します。①

バッテリーカバーを止めてあるねじ 2 個を反時計回りに回して外します。②

バッテリーカバーを左側にスライドさせ、右手前に引いて外します。③



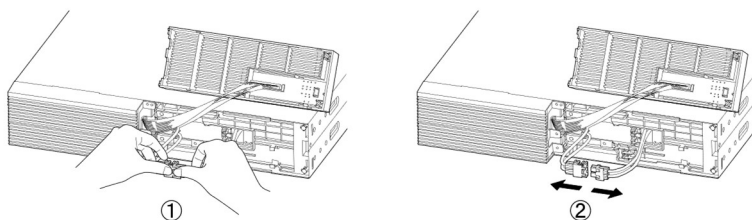
#### <BN150R>

赤と黒のバッテリーケーブルが本体に爪で固定されていますので、バッテリーケーブルを持って手前に引き抜きます。

バッテリーコネクタを左右に引いて外します。②

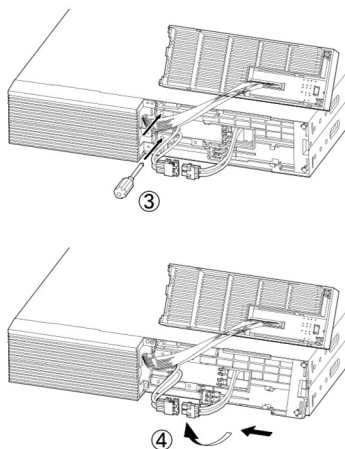
#### <BN300R>

バッテリーコネクタを両手でもち、コネクタの中心を親指で押しながら①、左右に引いて外します。②



バッテリーカバーを止めてあるねじ 2 個を反時計回りに回して外します。③

バッテリーカバーを左側にスライドさせ、下側から手前に引いて外します。④



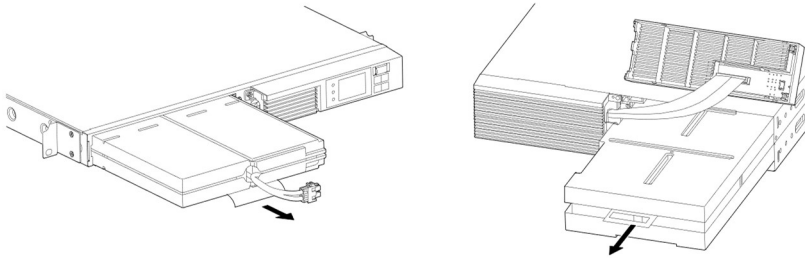


3. BN75R はバッテリーパック下面に貼ってある白いラベルを、BN150R/BN300R はバッテリーパックの取っ手を持って、バッテリーパックを取り出します。

### ⚠ 注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

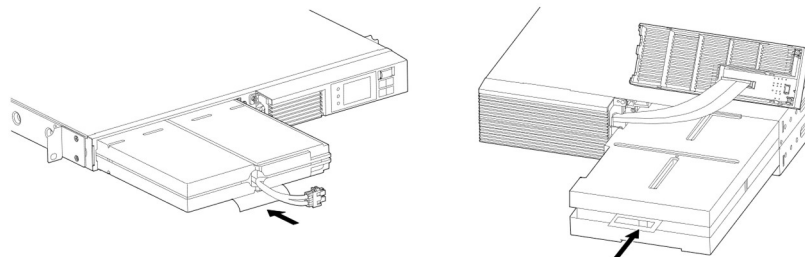
バッテリーパック天面に貼ってあるラベル上の赤いラインが見えたら、あと 10cm でバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーをしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。



4. 新しいバッテリーを傾けないように真っ直ぐ本機の奥まで挿入し、収納します。

●交換用バッテリーパック

BN75R 用: 型式 BNB75R BN150R 用: 型式 BNB150R BN300R 用: 型式 BNB300R



## 6 保守・点検について

### 6-2 バッテリーの交換

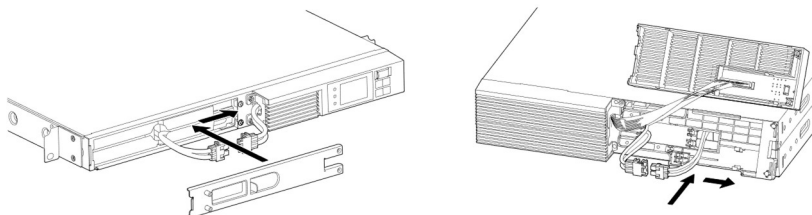
5. バッテリーカバーを取り付けます。

<BN75R>

バッテリーカバーを右側から差し込み、左にスライドさせてねじ穴の位置を合わせ、外したねじ 2 本でバッテリーカバーを固定してください。

<BN150R/BN300R>

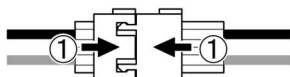
バッテリーカバーを上側から差し込み、右にスライドさせて UPS 本体側面のツメにはめ込んでください。外したねじ 2 本でバッテリーカバーを固定してください。ねじを強く締めすぎるとねじ山がなめるおそれがありますので、ご注意ください。



6. バッテリーコネクタを止まるまで差し込みます。①

BN150R はバッテリーケーブルをバッテリーカバーのツメにはめ込んでください。

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。



7. フロントパネルを取り付けます。

BN75R は左側から、BN150R/BN300R は右側からフロントパネルを差し込み、ねじ 2 本で固定します。

以上でバッテリー交換は終了です。



<バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。>  
バッテリー交換後は、本機の LCD メニュー[コントロール]—[バッテリー寿命カウンタリセット]画面より、バッテリー寿命カウンタをリセットしてください。  
もしバッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー交換アラームが発生してしまうおそれがあります。



付属のバッテリー交換日シールにバッテリー交換日を記入し、本体に貼付してください。  
もしくは、LCD メニュー[セット]—[バッテリーセット]—[バッテリーカウンタ] (バッテリー交換日)画面でも、バッテリー交換日を入力いただけます。

## 6-3 本体のお手入れ方法

### 1. 本機の汚れを落とす

#### 2.

柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。

シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。(変形、変色の原因になります)

### 2. 本機の「AC入力」プラグ、「電源出力」コンセントのほこりを取り除く

接続機器および本機をすべて停止し「AC入力」プラグを、電源コンセント(商用電源)から抜いてください。

その後乾いた布でほこりをはらい、再度接続を行ってください。

(接続方法が分からなくなった時)

参照 「2-3 機器の接続方法」

## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

※自動シャットダウンソフト、信号入出力を使用されない場合は本項は不要です。

### ■自動シャットダウンソフト

全商品に自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」、「Simple Shutdown Software」および「UPS サービスドライバ」をご用意しています。用途に応じていずれかをお選びください。

OS の対応状況は、当社ホームページをご覧ください。

OS の対応状況

[https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/support/download/ups.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html)

最新版ソフトウェアのダウンロード

[https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/support/download/download.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/download.html)

## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

### ●自動シャットダウンソフト機能一覧表

●対応 ▲一部制限あり —非対応

機能	ソフト名称	一般用途 (単機能、スタンドアロン)			ネットワーク管理用途 (高機能、ネットワーク対応)	SNMP管理用途 (高機能、ネットワーク対応)
		UPSサービス ドライバー	OS標準 UPSサービス	Simple Shutdown Software	PowerAct Pro 4.x	SNMP/Webカード*
必要な別売オプション		—	BUC26	—	—	SNMP/Webカード* SC20G2/SC21
ソフト 機能	自動シャットダウン	●	●(*1)	●	●	●
	UPSモニタリング(動作状態)	●	●	—	●	●
	UPSモニタリング(データ)	▲(*2)	—	—	●	●
	ホップアップ通知	●	●	—	●	●
	OSを休止状態で終了(*3)	●	—	—	●	●
	スケジュール運転	—	—	—	●	●
	UPSの設定変更	—	—	—	●	●
	外部コマンド実行	●	●	●	●	●
	イベントログ保存	—	—	—	●	●
	データログ保存	—	—	—	●	●
	連携シャットダウン	—	—	—	●	●
	出力コンセント制御	—	—	—	●	●
	冗長電源対応	—	—	—	●	●
	リモートでのUPS管理	—	—	—	●	●
	メール送信	—	—	—	●	●
	SNMP管理	—	—	—	●	●
	Telnet接続	—	—	—	—	●
SYSLOG対応	—	—	—	●	●	

\*1) UPS はバッテリーがなくなった時にのみ自動停止します。(それまではバックアップ運転を続けます)

\*2) バッテリー容量のみモニタリングできます。

\*3) この機能は Windows のみ使用可能です。Linux では使用できません。

## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

### 【ソフト機能の解説】

1	自動シャットダウン	電源異常発生時、コンピュータを自動シャットダウンできます。
2	UPS モニタリング(動作状態)	UPS の動作状態(商用運転中/バックアップ運転中)をモニタリングできます。
3	UPS モニタリング(データ)	入出力電圧値、接続容量、バッテリー容量などのデータをモニタリングできます。
4	ポップアップ通知	停電などの異常発生時、ポップアップウィンドウで異常内容を通知させることができます。
5	OS を休止状態で終了	コンピュータを休止状態で終了できます。休止状態では終了時の作業状態を保持するため、作業内容が失われません。
6	スケジュール運転	UPS の停止/起動をスケジュール設定できます。
7	UPS の設定変更	UPS の設定(ブザーON/OFF設定など)を変更することができます。(設定可能項目はUPSにより異なります)
8	外部コマンド実行	シャットダウン時に、コマンドを実行することで、アプリケーションプログラムなどを起動させることができます。
9	イベントログ保存	UPS で発生したイベント情報(電源異常、設定変更、故障発生など)をログ保存します。
10	データログ保存	入出力電圧値、接続容量などのデータを一定間隔(設定可能)でログ保存します。
11	連携シャットダウン	電源異常発生時、UPS に接続された複数台のコンピュータを連携して自動シャットダウンできます。
12	出力コンセント制御	UPS の出力コンセントを個別に OFF/ON することが可能。
13	冗長電源対応	冗長電源を搭載したコンピュータに2台以上のUPSを接続することができます。電源異常が片方のみの時はシャットダウンを行わず、両方の UPS で電源異常が発生した時のみシャットダウンさせるので、システムの稼働率を高められます。
14	リモートでの UPS 管理	ネットワーク上のコンピュータからリモートで UPS を管理することができます。
15	メール送信	停電などの異常発生時、システム管理者にメールで異常内容を通知させることができます。
16	SNMP 管理	UPS の管理情報を SNMP マネージャに送信することができます。
17	Telnet 接続	Telnet 接続でシャットダウンパラメータなどの設定を行うことができます。
18	SYSLOG 対応	UPS の管理情報を SYSLOG で記録することができます。

## 7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

### ●PowerAct Pro を利用する場合

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」について

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご利用になると、停電時にコンピュータの終了処理を行うことができます。

(ネットワーク上の複数台のコンピュータの終了処理が可能です。)

またスケジュール設定による UPS の自動起動、停止など、お客様のご要望にあわせた運用を行うことができます。

\* ただし停電発生からコンピュータの終了までの時間は「5-1 バックアップ時間の測定方法」で測定したバックアップ時間内に完了するようにしてください。

詳細の説明および動作は自動シャットダウンソフトの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

### ●Simple Shutdown Software を利用する場合

「Simple Shutdown Software」をご利用になると、停電時に自動的にコンピュータの終了処理を行うことができます。

詳細は以下のホームページをご参照ください。

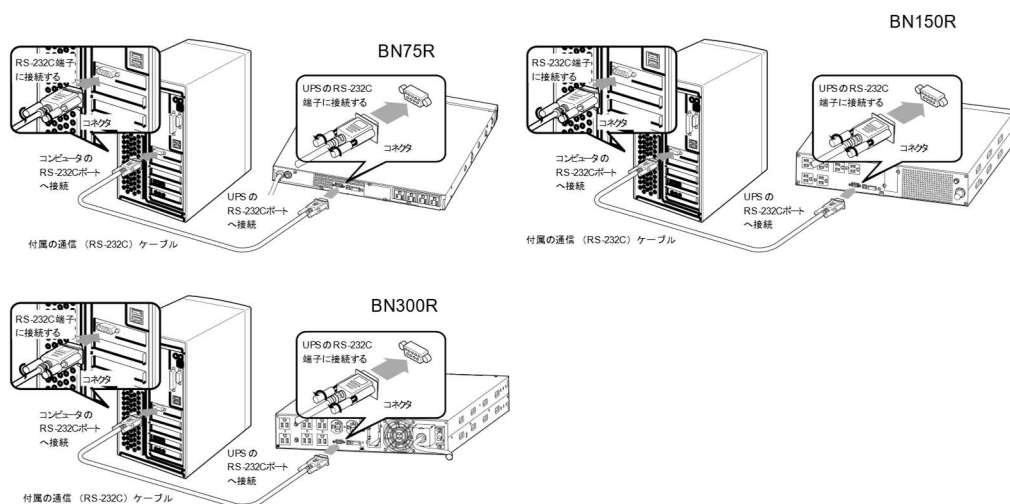
URL : [https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/product/soft/soft.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html)

#### 1. 本機とコンピュータを接続する。

使用ケーブル: 付属の接続ケーブル (RS-232C または USB)

※ RS-232C と USB の同時使用はできません。

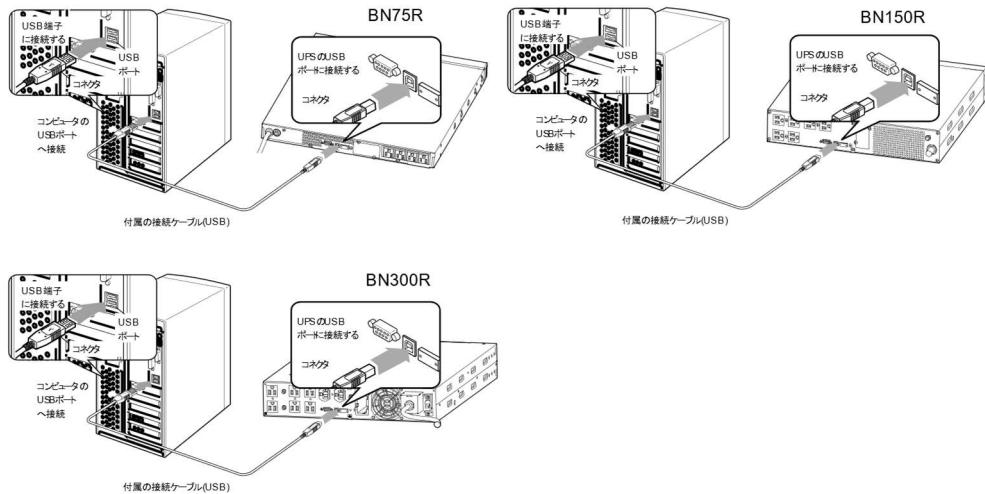
#### <RS-232C 接続>



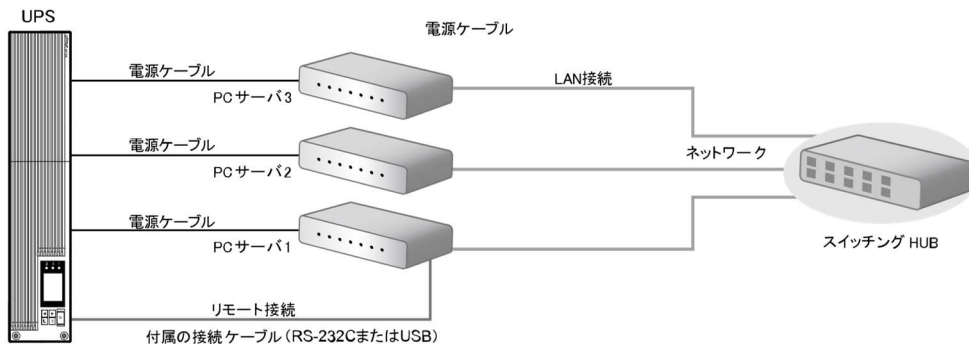
## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

### 7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

#### <USB 接続>



※本機に2台以上のコンピュータを接続する場合 (PowerAct Pro のみ)



- シャットダウンさせたいすべてのコンピュータに「PowerAct Pro 4.x」または「Simple Shutdown Software」をインストールする。  
インストール方法: 以下のホームページからダウンロードしてご使用ください。  
最新の対応状況につきましては、以下のホームページをご参照ください。  
URL: [https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/product/soft/soft.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html)



## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

### 7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

#### 解説

##### 自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時にブレーカーなどを使用し、商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。  
3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。またこの期間はバッテリーが交換時期になると約半分になります。  
3か月を超えた場合、商用電源を供給し、「電源」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが交換時期となった場合、運転を開始できないことがあります。この場合は、「6-2 バッテリーの交換」に従いバッテリー交換を行ってください。

##### 自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転時の運転開始について

- スケジュール運転によって本機が停止している状態で本機を手動で起動する場合には、「電源」スイッチをいったん切ってから、再度入れてください。  
また運転中の本機を停止する場合は、「電源」スイッチを切ることにより、停止します。

##### 自動シャットダウンソフトによる OS 終了処理後の自動再起動について

- 特定のパソコン\*1にて、停電時に自動シャットダウンによる OS の終了処理完了直後にパソコンが自動的に再起動する現象が発生します。  
この場合、パソコンの再起動中または起動後に本機が停止し、ファイルやハードディスクを破壊するおそれがあります。  
この現象は、パソコンの BIOS 設定内の POWER MANAGEMENT を Disable(無効)にすることにより回避できます。

\*1) 特定のパソコン: MICRON 製 Millennia Mme にてこの現象が確認されています。

##### OS シャットダウン後、「UPS を自動停止させる設定」にしている場合の注意事項

- 停電が発生し自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後に UPS の出力はいったん停止してしまいます。シャットダウン処理終了後、UPS の再起動が完了するまでパソコンの電源を入れしないでください。

## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-2 Windows Server2003/Xp の UPS サービス+UPS サービスドライバによる自動退避処理をする場合

### 7-2 Windows Server2003/XpのUPSサービス+UPS サービスドライバによる自動退避処理をする場合

「UPS サービスドライバ」をご利用になると、Windows Server2003/XP の OS 標準 UPS サービスをご利用いただけます。停電時に自動的にコンピュータの終了処理を行うことができます。

#### 1. 本機とコンピュータを接続する。

※ 本機にコンピュータ1台のみ接続可能です。

使用ケーブル: 付属の接続ケーブル (RS-232CまたはUSB)

※ RS-232CとUSBの同時使用はできません。

接続方法は、「7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合」をご参照ください。

#### 2. 「UPSサービスドライバ」をコンピュータにインストールする。

インストールソフト: 「UPSサービスドライバ」

インストール方法: 以下のホームページからダウンロードしてご使用ください。

最新の対応状況につきましては、以下のホームページをご参照ください。

URL: [https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/product/soft/soft.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html)

### 7-3 Windows Server2003/Xp 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

別売の接点信号入出力カード (SC07) と別売の接続ケーブル (BUC26) を合わせてご使用になると、Windows Server2003/XP の OS 標準 UPS サービスをご利用いただけます。停電時にコンピュータの終了処理を行うことができます。

#### 1. 本機とコンピュータを接続する。

※本機にコンピュータ1台のみ接続可能です。

別売オプション: 接点信号入出力カード (SC07)

接続ケーブル (BUC26)

接点信号入出力カードの装着手順については、「7-4 接点信号入出力カードを使用する」をご参照ください。

#### 2. UPSサービスのセットアップを行う。

自動シャットダウンさせるには Windows の設定を行う必要があります。

ソフトのインストール作業は必要ありません。

## 7-4 接点信号入出力カードを使用する

本機の背面にある信号入出力スロットに、接点信号方式のカードを増設できます。

- ・接点信号入出力カード(型式名:SC07)別売オプション

### 接点信号入出力について

下記仕様に合わせてお客様が独自にシステムを開発されることで、停電時の処理を自動化できます。バックアップ信号をシステムで検知し、停電処理や、バッテリー容量低下信号をシステムで検知してシステムの終了処理をおこなえます。また、システムからバックアップ停止信号を入力することにより、バッテリーに余力を残した状態で本機を停止し、次の停電発生に備えることができます。

### 7-4-1 信号出力の種類

本機は4種類の信号出力を持っています。出力回路はフォトカプラを使用した無電圧出力のオープンコレクタ回路(一種の電子スイッチ)になっています。

#### ●バックアップ信号出力(BU)

停電中に継続してONになります。

BU-COM	停電時 ON
--------	--------

#### ●バッテリー容量低下信号出力(BL)

バックアップ運転時でバッテリーの残量が少なくなった時にONになります。

BL-COM	バッテリー Low 時 ON
--------	----------------

#### ●トラブル信号出力(TR)

本機の異常発生時にONになります。

TR-COM	異常時 ON
--------	--------

#### ●バッテリー交換信号出力(WB)

バッテリーが劣化し、交換が必要なことをテストで検出したときもしくは、バッテリー寿命カウンタがカウントアップしたときにONします。

WB-COM	バッテリー劣化検出時 ON
--------	---------------

### 7-4-2 信号入力の種類

#### ●バックアップ停止信号(BS)入力の型式

BS-COM	UPS 停止
--------	--------

BS信号をON(High)にすると、あらかじめ設定された時間を経過した後、本機の出力を停止します。LCDにて以下の設定が可能です。

(1)BS信号有効範囲 [セッテイ]—[セッテンシゴウ]—[BSシゴウユウコウハン]

- ・常時有効:商用運転時、バックアップ運転時いずれの場合もBS信号を受け付けます。
- ・バックアップ時有効:バックアップ運転時のみBS信号を受け付けます。

(2)BS信号遅延時間 [セッテイ]—[セッテンシゴウ]—[BSシゴウチエンジカン]

BS信号を受け付けてから、本機の出力を停止するまでの時間を設定できます。

#### ●リモート ON/OFF 信号

外部に接続した接点、あるいはオープンコレクタ回路のON/OFFの状態より、本機の運転、停止が行えます。この機能を使用するには本機の「電源」スイッチを入れておく必要があります。

外部接点	動作
オープン	運転
クローズ	停止

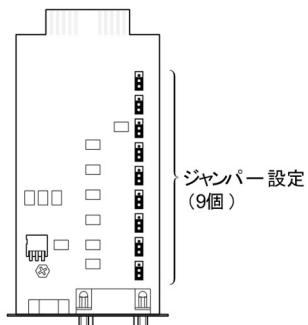
(注:コールドスタートがON設定であっても、AC入力電源が無い状態ではリモートON/OFF信号でUPSを起動することはできません。)

接続端子は接点信号入出力コネクタのピン番号6〜7とリモートON/OFF専用コネクタの2か所あります。用途に応じてどちらかご使用ください。

## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

### 7-4 接点信号入出力カードを使用する

#### 7-4-3 接点信号入出力カードで設定できる項目



#### ■SC05互換モードとしてご使用の場合の設定方法

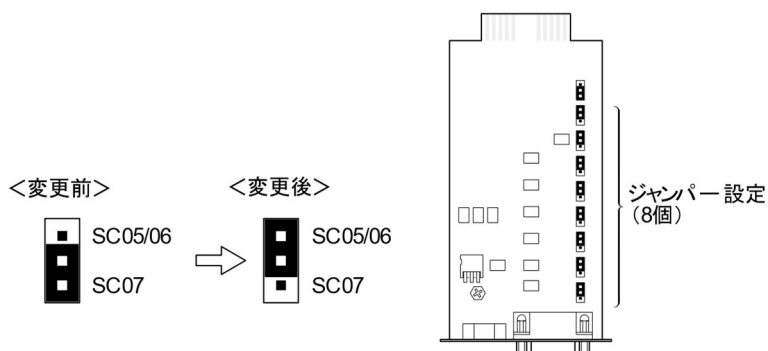
##### ●ジャンパー設定

ジャンパー設定をすることにより接点信号入出力カード「SC05/SC06」のコネクタピン配置に変更することができます。

接点信号入出力カードのJP2～JP9のジャンパー設定(8個)を「SC05/06」側へ変更してください。

※ JP10は「SC05/06/07」側のままご使用ください。

※ 出荷時設定:JP2～JP9SC07側,  
JP10 SC05/06/07側

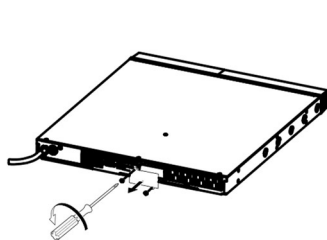


## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

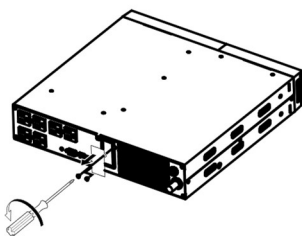
### 7-4 接点信号入出力カードを使用する

#### ●接点信号カードの取付方法

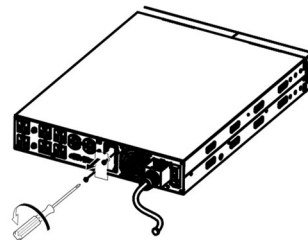
(1) 本機背面「信号カード増設」スロット上下のねじ2本を外し、カバーを外してください。



<BN75R>

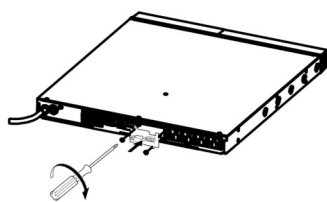


<BN150R>

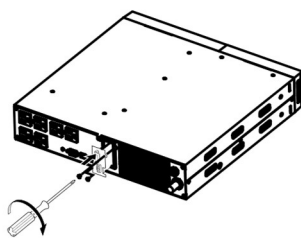


<BN300R>

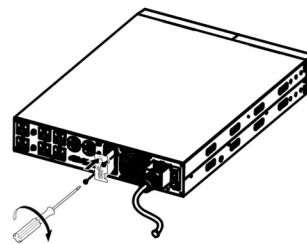
(2) 接点入出力カードを下記の向きにゆっくり差し込み、ねじ2本でしっかり固定してください。



<BN75R>



<BN150R>



<BN300R>

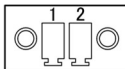
## 7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

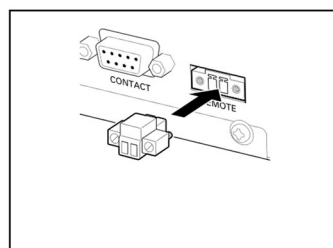
### 7-4 接点信号入出力カードを使用する

#### 7-4-4 信号入出力コネクタ(DSUB9P メス)

ピン配置	ピン番号	ジャンパー設定「SC07」時 ※工場出荷設定	ジャンパー設定「SC05/06」時
 <p>フロントビュー ねじサイズ: インチねじ #4-40 UNC</p>	1	バッテリー LOW 信号出力 (BL)	NC
	2	トラブル信号出力 (TR)	バックアップ信号出力 (BU)
	3	バックアップ停止信号入力 (BS)	バックアップ反転信号出力 (BU)
	4	NC	COMMON (COM)
	5	COMMON (COM)	バッテリー LOW 信号出力 (BL)
	6	リモート ON/OFF 入力 (-)	バックアップ停止信号入力 (BS)
	7	リモート ON/OFF 入力 (+)	リモート ON/OFF 入力 (-)
	8	バックアップ信号出力 (BU)	トラブル信号出力 (TR)
	9	バッテリー交換信号出力 (WB)	リモート ON/OFF 入力 (+)

#### 7-4-5 リモート ON/OFF 専用コネクタ

ピン配置	ピン番号	信号名
 <p>フロントビュー ねじサイズ: インチねじ #4-40 UNC</p>	1	リモート ON/OFF (+)
	2	リモート ON/OFF (-)



#### 7-4-6 信号入出力定格

##### ●信号出力 (BL、TR、BU、WB、NBU)

フォトカプラ定格  
印加可能電圧: DC35V 以下  
最大電流: 20mA

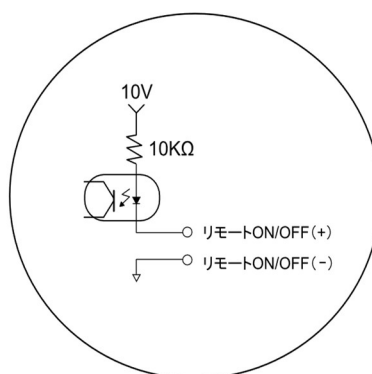
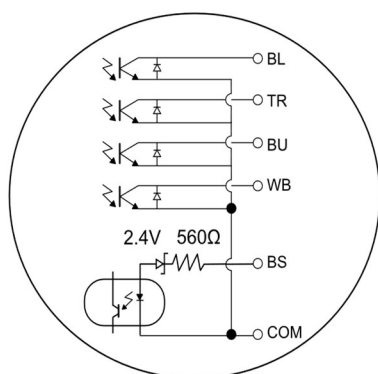
##### ●バックアップ停止信号入力 (BS)

入力電圧 High (ON) DC5~12V  
Low (OFF) DC0.7V 以下

##### ●リモート ON/OFF

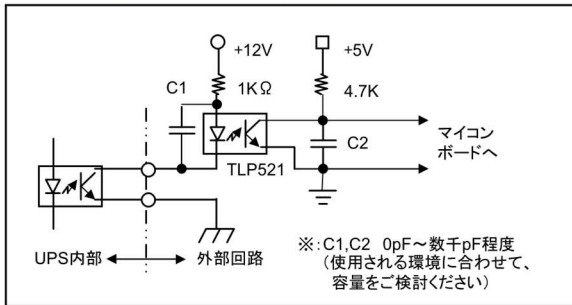
端子間電圧: DC10V  
クローズ時電流: max.10mA

#### 7-4-7 信号入出力回路

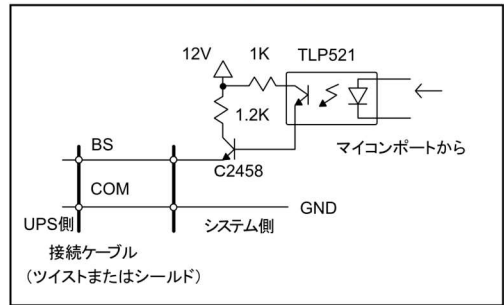


7-4-8 信号入出力回路使用例

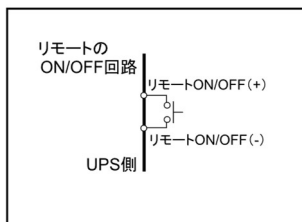
●BU信号出力回路と接続回路例



●BS信号入力回路の接続回路例



●リモート ON/OFF の例



7-4-9 信号入出力使用時のご注意、お願い

お願い

- 信号出力回路にリレーなど逆起電力の発生する機器を接続する場合は、逆起電力を防止するダイオードをリレーの両端に付けてください。
- プラスコモン接続で使用することはできません。本製品および接続機器が故障するおそれがあります。ご使用される場合、お客様にて変換ケーブルを作成してください。

解説

- 停電中に本機が自動停止した後に停電が回復した場合、本機は自動的に再起動し、電力を供給します。接続機器を動作させたくない時は、接続機器のスイッチを切るか、停電からの復帰時の自動起動設定(LCDメニューの[セッテイ]—[キトウセッテイ]—[ジドウサイキトウ])を無効にしてください。

別売オプションで、リレー出力タイプの接点信号入出力カードをご用意しております。本機の背面にあるオプションスロットに装着可能です。詳細は当社ホームページをご覧ください。

(URL:[https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/))

- ・ 接点信号入出力カード(リレー出力タイプ).....型式名:SC08(別売オプション)

## 8 SNMP/Web カードを使用する

### 8-1 SNMP/Web カードの増設

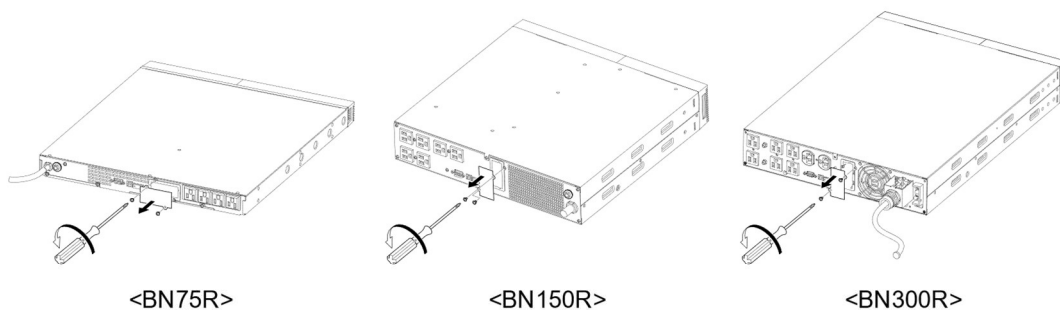
# 8 SNMP/Web カードを使用する

## 8-1 SNMP/Web カードの増設

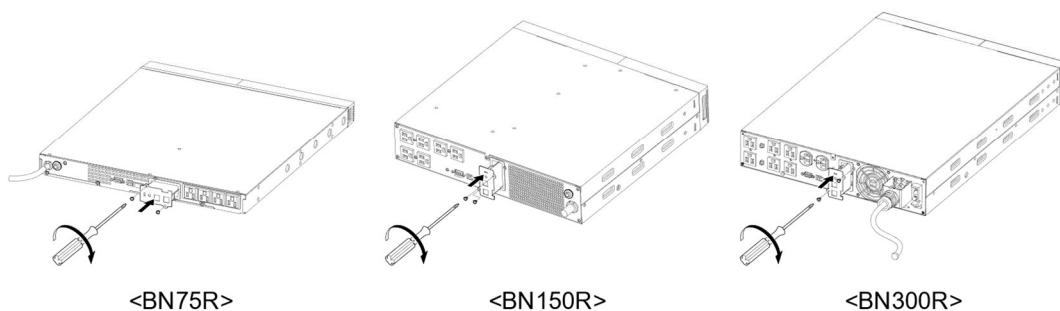
本機の背面にあるオプションスロットに SNMP/Web カードを増設できます。

- SNMP/Web カード(型式名:SC20G2 または SC21)別売オプション

(1) ねじを 2 本外し、カバーを外してください。



(2) SNMP/WEB カードをゆっくり差し込み、ねじ 2 本でしっかり固定してください。





## 8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Web カード(SC20G2)の概要

### ○UPS とネットワークの直接接続

LAN 接続が可能となり、シリアルポートを搭載しないコンピュータからでも UPS を管理できます。

### ○リモートでの UPS 管理

市販の SNMP マネジャや Web ブラウザを使って、ネットワークに接続されているコンピュータから UPS を管理することができます。

### ○ネットワーク上のコンピュータから UPS およびネットワークカードや SNMP/Web カードの機能設定が可能

UPS およびネットワークカードや SNMP/Web カードのパラメータ設定は、SNMP 管理ステーションのいずれか、あるいはインターネットブラウザやコンソール(TELNET など)経由で行うことができます(SNMP エージェントとしての機能は Telnet およびシリアル接続で設定可能)。

### ○セキュリティ機能を強化

HTTPS、SMTPS によるメール通信、アクセス制御をかけることができます。

### ○ログ機能

UPS の電源状態、バッテリー状態などをカード内のフラッシュメモリに保存できます。

### ○自動シャットダウン機能

電源異常時や事前に設定した時間のシャットダウンが自動的に実行されます。ネットワーク経由で、スケジュール運転(自動起動、自動停止)が可能です。

### ○UPS の標準 MIB(RFC1628)および独自 MIB(swc mib)を装備

### ○JAVA アプレットを使用し電源の状態をモニタ

### ○UPS エラー通知機能

詳細についてはネットワークカード、SNMP/Web カードに付属の取扱説明書をご参照ください。

当社ホームページ([https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/support/download/ups.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html))からダウンロードすることが可能です。

## ●仕様

LAN ポート	10/100M ビット
ネットワークプロトコル	SNMP、HTTP、APR、RARP、TFTP、ICMP
その他の通信経路	シリアル接続 非同期方式(設定のみ)
制御可能なコンピュータ数	最大 32 台
サポート MIB	UPSMIB(RFC1628) OMRON MIB
使用温度/湿度	0~40°C / 25~85%
その他	リアルタイムクロック搭載

詳細については SNMP/Web カードに付属の取扱説明書をご参照ください。

最新ファームは当社ホームページ

([https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/support/download/download.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/download.html))

からダウンロードすることが可能です。

## 9 おかしいな?と思ったら

本機の動作がおかしい時、以下の確認を行ってください。

それでも解決しない時は、オムロン電子機器カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象	ブザー	出力	充電	LCD表示 メッセージ(注2)	原因	対処
・ブザーが 断続で鳴る	断続音 4秒	ON	OFF/ 放電中	バッテリーモト	停電またはAC入力異常のためバックアップ運転中です。このままバックアップ運転を続けると出力が停止します。	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。ご使用の接続機器をシャットダウン(終了処理)して、停止してください。
	断続音 2秒	ON	ON	バッテリーレカ (バッテリー交換 LED点灯) バッテリージュモウ	バッテリーの劣化を検出しました。	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。バッテリーを交換してください。別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。バッテリー交換後、バッテリージュモウカウンタをリセットしてください。
	断続音 1秒	ON	OFF/ 放電中	バッテリーロー	(同上) バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力が停止します。	(同上)
	断続音 0.5秒	ON	ON/ 放電中	カフカイジョウ	接続機器が多すぎ、定格容量を超えています。この状態が続くと条件により出力を停止することがあります。 (注1)	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。警告が消えるまで接続機器を減らしてください。
・ブザーが 連続で鳴る	連続音	OFF	不定	シュツヨクタンラク	接続機器側の短絡または大幅な接続容量オーバーにより停止しています。	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。接続機器のAC入力が短絡していないか、接続容量が定格容量を超えていないか、確認してください。
	連続音	ON	不定	カフカテイシ	オーバーロードにより出力を停止します(注1)。	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。本機と接続機器の電源スイッチをすべて切り、接続機器を減らした後、本機と接続機器の「電源」スイッチを入れてください。
	連続音	ON	不定	シュツヨクデンアツ オーバー	出力電圧が異常(オーバー)のためバイパス運転に移行します。 (注1)	「ESC」スイッチを0.5秒以上押して、ブザーを停止してください。本機と接続機器の電源スイッチをすべて切り、本機の電源スイッチのみ再度入れてください。表示内容が変わらない場合は、本機の異常が考えられますので、修理をお申し込みください。表示内容が変わる場合は、接続機器との組み合わせによる考えられます。ご不明な点がある場合、カスタマサポートセンターにご連絡ください。
	連続音	ON	不定	シュツヨクデンアツ アンダー	出力電圧が異常(アンダー)のためバイパス運転に移行します。 (注1)	注:出力電圧は、「ソクテイ」メニュー-「ニューシュツヨク」で確認できます。
	連続音	ON	不定	バッテリーデンアツ オーバー	充電電圧が異常(オーバー)のためバイパス運転に移行します。 (注1)	
	連続音	ON	不定	バッテリーデンアツ アンダー	充電電圧が異常(アンダー)のためバイパス運転に移行します。 (注1)	

現象	ブザー	出力	充電	LCD表示 メッセージ(注2)	原因	対処
・ブザーが連続で鳴る	連続音	ON	不定	オンドイジョウ	内部温度異常のためバイパス運転に移行します(注1)。	
	連続音	ON	不定	ファンイジョウ	内部冷却ファンが異常のためバイパス運転に移行します(注1)。	
・UPSの電源が入らない ・二次側(接続機器側)に電源出力しない ・電源スイッチを押しても反応しない	なし	OFF	OFF/ 放電中	消灯	AC入力がない。	AC入力ケーブルを接続している電源に問題がないか確認してください。
	なし	OFF	OFF/ 放電中	消灯	「AC入力過電流保護」が動作しているときは、接続機器が多すぎる、または接続機器側の短絡事故が考えられます。	接続機器をすべて外し、「AC入力過電流保護」を工場出荷状態に戻し(*)、再度本機の「電源」スイッチを入れてください。上記を行っても正常な「状態表示」がされないときは故障です。 *:BN75R/150Rの場合:黒いボタンを押し込んでください。 BN300Rの場合:「AC入力過電流保護スイッチ」をON側に倒してください。
	なし	OFF	ON	ジューテンマチ	充電不足のため、起動しない状態です。	[セッテイ]—[キドウセッテイ]—[サイキドウバッテリーレベル]の値を下げてください。0%に設定すると、バッテリーの充電量を起動条件に含まない設定になり、即時起動します。
	なし	OFF	ON	ACニューリヨクイジョウ-VH ACニューリヨクイジョウ-VL ACニューリヨクイジョウ-FH ACニューリヨクイジョウ-FL	入力電圧または周波数が低いまたは高い。	[ソクテイ]—[ニューシユツヨク]で入力電源の電圧/周波数を確認してください。
なし	OFF	ON	リモートシンゴウテイシ	リモート ON/OFF 端子を短絡している、またはLCDメニューの「リモート ON/OFF ロック」を「オープン時 OFF」に設定変更している。	「6 接点入出力機能を使用する」参照	
・バックアップができない ・停電時に接続機器が停止してしまう	なし	ON	ON	バッテリーホウテン	充電不足。	UPSを商用電源に接続し、4時間以上充電してください。
	断続音 2秒	ON	ON	バッテリーカ (バッテリー交換 LED点灯) バッテリージユミョウ	バッテリーの劣化を検出しました。	「ESC」スイッチを0.5秒以上押し、ブザーを停止してください。バッテリーを交換してください。別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。バッテリー交換後、バッテリージユミョウカウンタをリセットしてください。

## 9 おかしいな?と思ったら

現象	ブザー	出力	充電	LCD 表示 メッセージ(注 2)	原因	対処
・ファン音が 煩くなった (回転数が 上がった)	なし	不定	不定	不定	下記状態でファンは高 速モードで動作してい ます。 1)バックアップ運転時 2)AVR(電圧安定化) 動作時 3)充電中 (充電率 0~95%)	高速モードとなる条件が解除され るまでお待ちください。
・カチカチ音 がする ・停電でもな いのに UPS 本体 からカチカ チと音がす る	なし	ON	ON	AVR モード	入力電源の変動が頻 繁に発生しているか、 入力電源の電圧波形 がひずむようなノイズ が含まれています。	UPS の設置環境をご確認ください。 (細い延長ケーブルを使用し ていないか、消費電力の大きい 機器と同じ商用電源コンセントに 接続していないかなど)

注 1 : バイパス運転中、商用電源をそのまま出力します。バイパス運転に移行できない場合やバイパス運転中に停電(AC入力OFF)が発生した場合は、出力は停止します。

商用運転時、定格容量の 110%以上の場合 5 分後にバイパス運転を行い、125%以上の場合即時出力を停止します。

また、バックアップ運転時、定格容量の 115%以上の場合 30 秒後に出力停止、135%以上の場合即時に出力を停止します。

注 2 : LCD には最大で 2 種類のメッセージが交互に表示される場合があります。

# 参考資料

## A. 仕様

型式		BN75R	BN150R	BN300R	
方式	運転方式	ラインインタラクティブ方式			
	冷却方式	強制空冷			
入力	定格入力電圧	AC100V			
	入力電圧 範囲	標準電圧感度設定時	AC89 ± 3 ~ 118V ± 3V		
		低電圧感度設定時	AC84 ± 3 ~ 118V ± 3V		
		高電圧感度設定時	AC89 ± 3 ~ 113V ± 3V		
	入力最大電流	12A	20A	40A	
	周波数	50/60Hz ± 4Hz			
	相数	単相2線(アース付)			
	入力保護	NFB (13A)	NFB (25A)	NFB (45A)	
AC入力プラグ形状	3P (NEMA 5-15P)	3P (NEMA 5-15P) ※1	3P (NEMA L5-30P) ※2		
出力	出力定格容量	750VA/680W	1500VA/1350W ※1	3000VA/2700W ※2	
	電圧	商用運転時	AC90 ± 3 ~ 114V ± 3V (標準電圧感度設定時) AC84 ± 3 ~ 114V ± 3V (低電圧感度設定時) AC90 ± 3 ~ 110V ± 3V (高電圧感度設定時)		
		バックアップ運転時	AC100V ± 6%		
	周波数	商用運転時	入力周波数に同期		
		バックアップ運転時	50/60Hz ± 0.1Hz		
	波形	商用運転時	正弦波		
		バックアップ運転時	正弦波		
		ひずみ率 ※3	20% 以下(整流負荷、定格出力時) 15% 以下(抵抗負荷、定格出力時)		
	相数	単相2線(アース付)			
	出力コンセント	NEMA 5-15R × 4個	NEMA 5-15R × 6個	NEMA 5-15R × 6個 NEMA 5-20R × 2個	
バッテリー	種類	小形制御弁式(シール)鉛蓄電池			
	電圧/容量×個数	6V/4.5Ah× 4個	12V/8.5Ah× 4個	12V/8.5Ah× 6個	
	バックアップ時間25°C、初期特性)	4分以上	4.5分以上	2.5分以上	
	充電時間	4時間(90%充電)			
	バッテリー寿命   周囲温度25°C	期待寿命: 5年			
環境	使用環境温度/湿度	0°C~40°C / 25%~85% RH(無結露)			
	保管温度	-15°C~50°C / 10%~90% RH(無結露)			
	安全規格適合	UL1778			
	雑音端子電圧・放射妨害電界強度	VCCI クラスA			
	内部消費電力	無負荷時 (通常時/最大時)	15W / 50W	24W / 100W	30W / 150W
		定格負荷時 (通常時/最大時)	50W / 100W	100W / 200W	150W / 300W
騒音	38dB以下	50dB以下	50dB以下		
外形寸法(W × D × H)	438mm×512mm×43mm	438mm×437mm×87mm	438mm×650mm×87mm		
本体質量	約14kg	約21.5kg	約32kg		

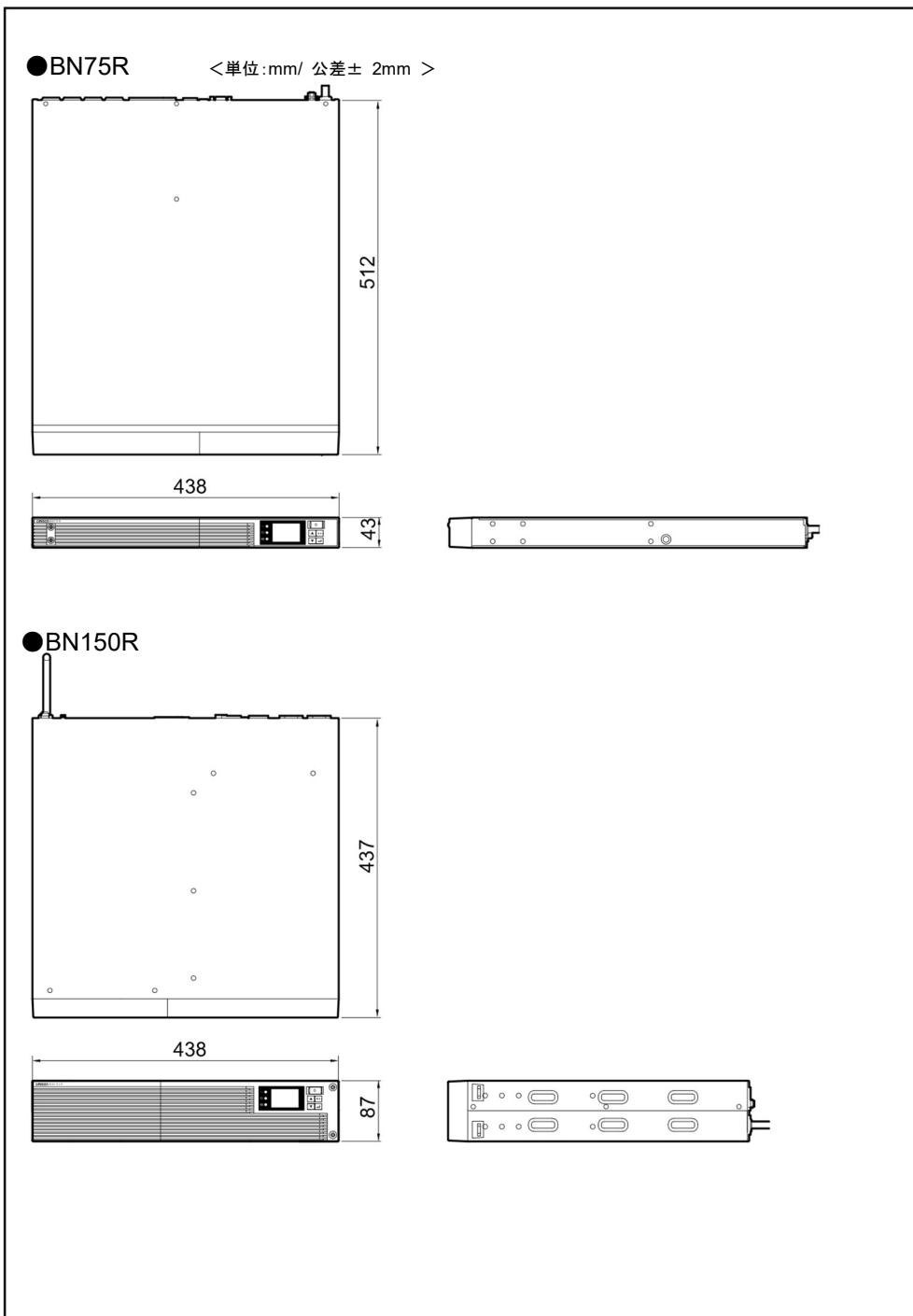
※1 BN150R の場合、標準装備の入力プラグ(NEMA 5-15P)では最大出力(1.5kVA/1.35kW)までご使用できません。最大出力でご使用の場合には、20A プラグに交換してください(20A プラグは同梱されています)。

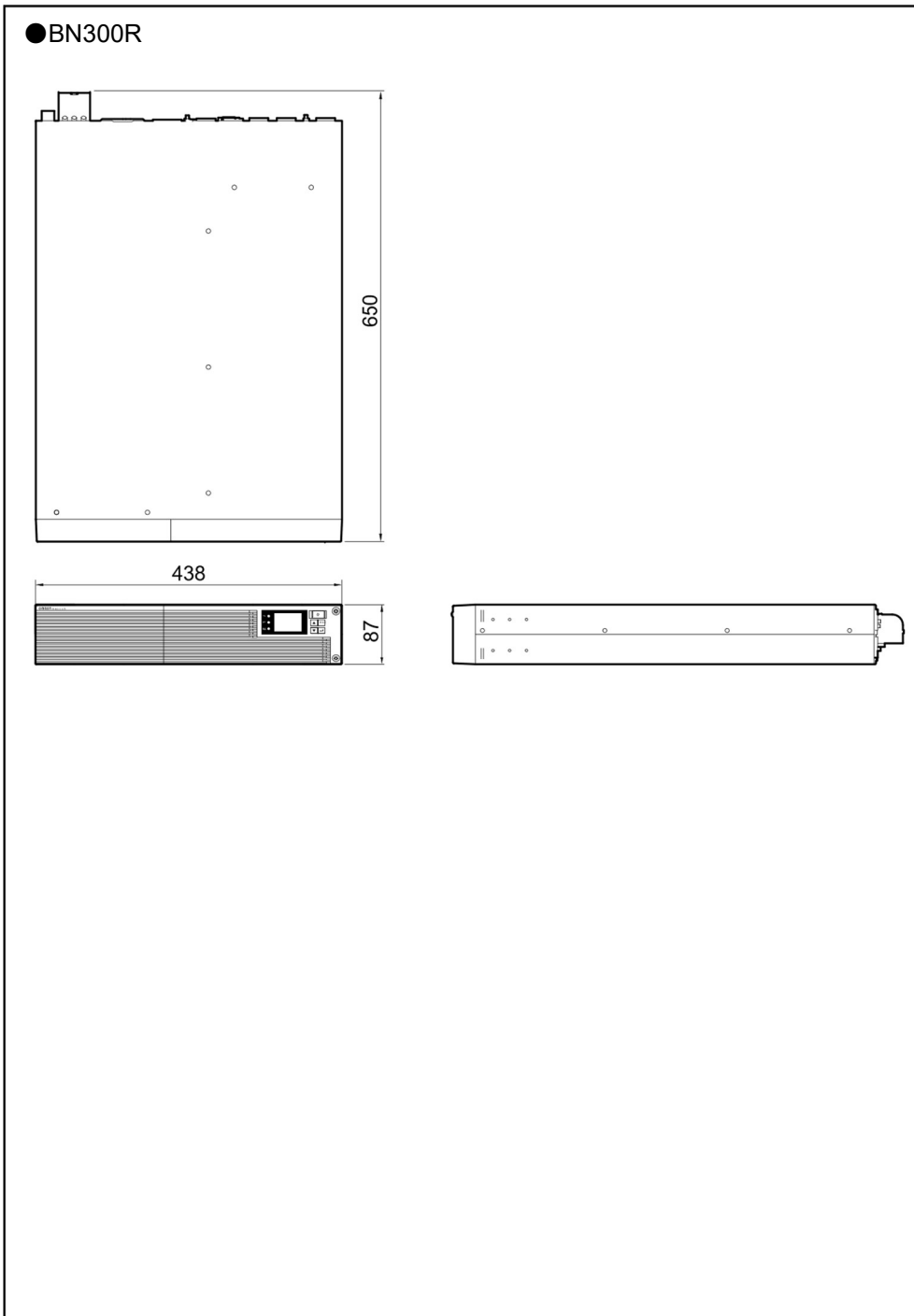
※2 BN300R の場合、標準装備の入力プラグ(NEMA L5-30P)では最大出力(3.0kVA/2.7kW)までご使用できません。最大出力でご使用の場合には、端子台接続してください(お客様にてご用意ください)。

なお、標準装備の入力プラグ(NEMA L5-30P)では家庭用コンセントに接続できないので、ご注意ください。

※3 定格負荷、バックアップ時(BL 状態を除く)

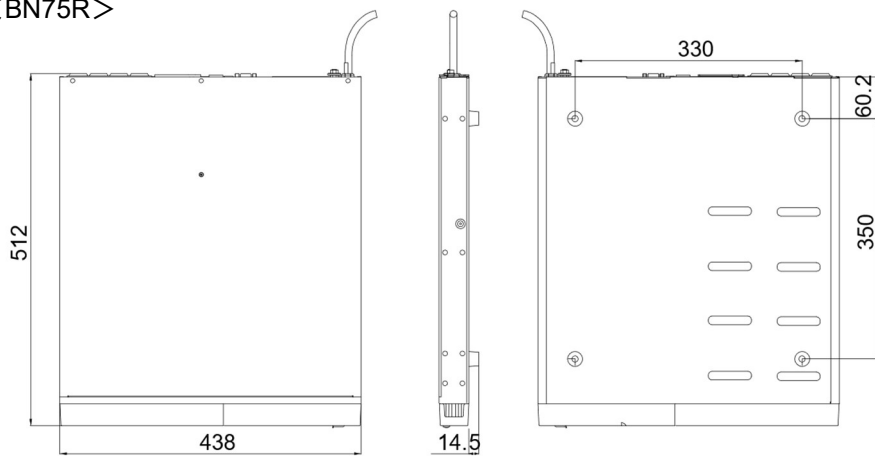
## B. 外形寸法図



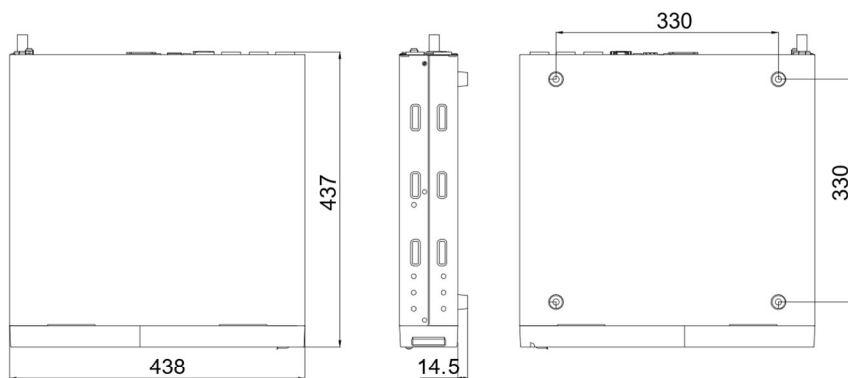


●ゴム足 <単位:mm/ 公差± 2mm >

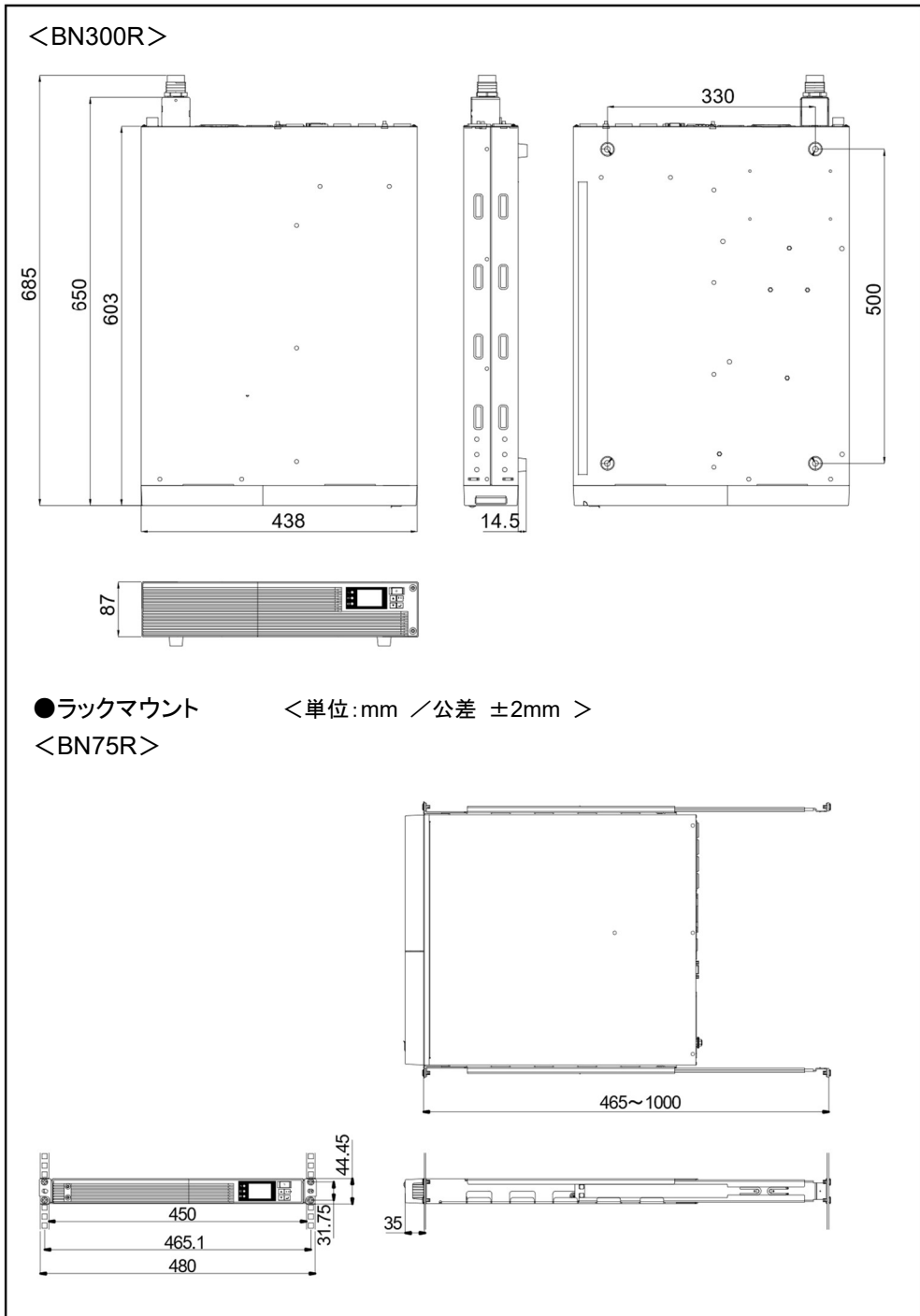
<BN75R>

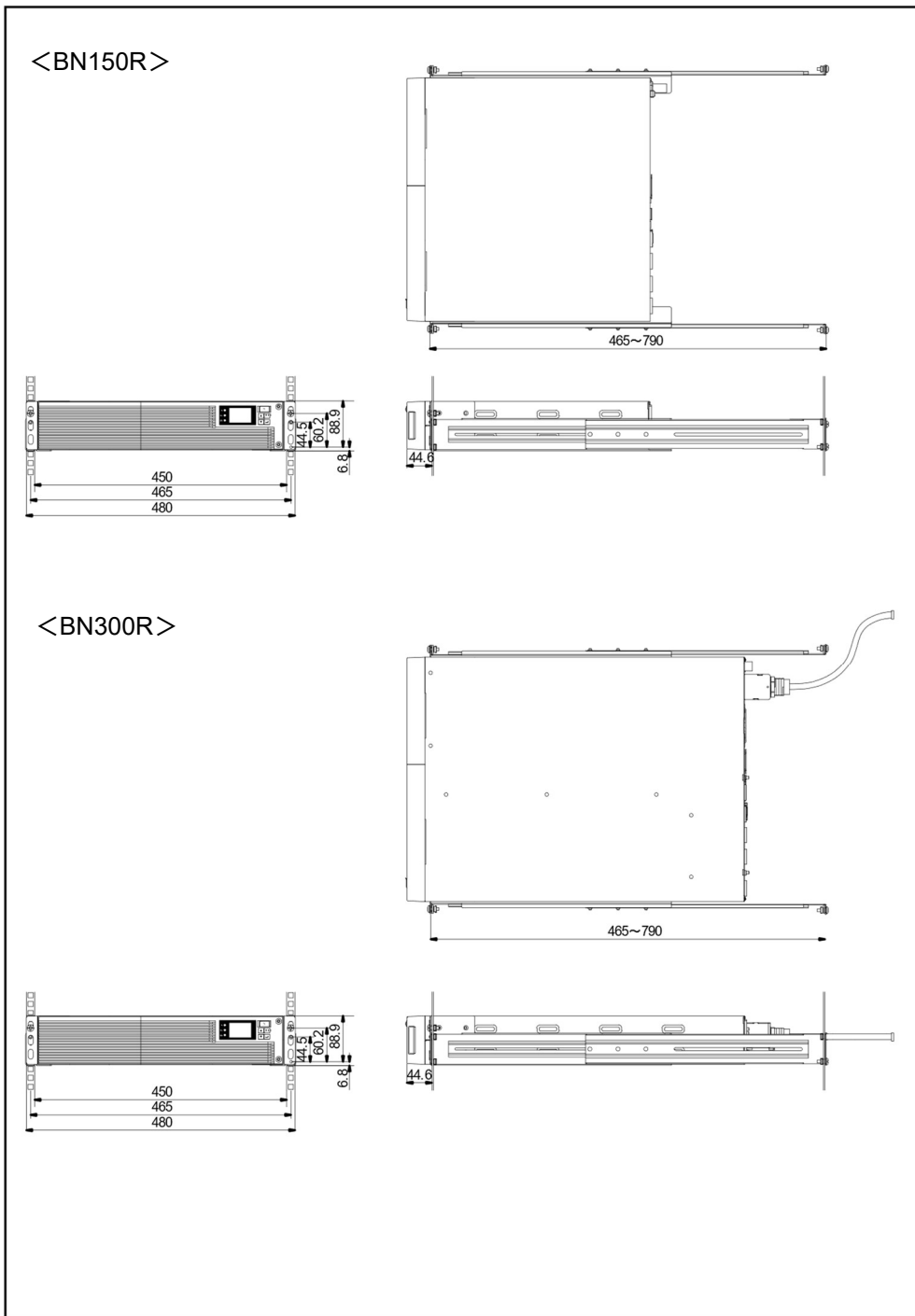


<BN150R>

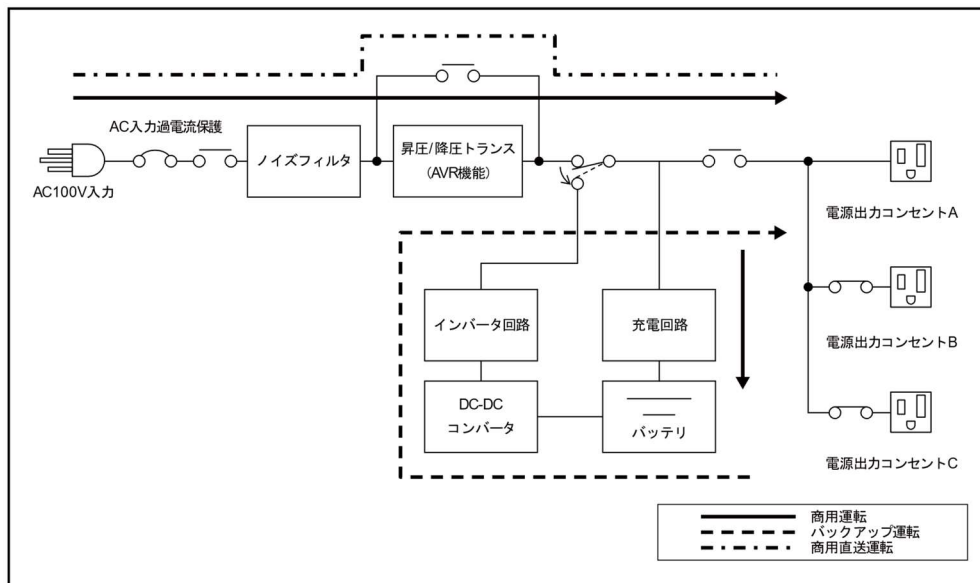








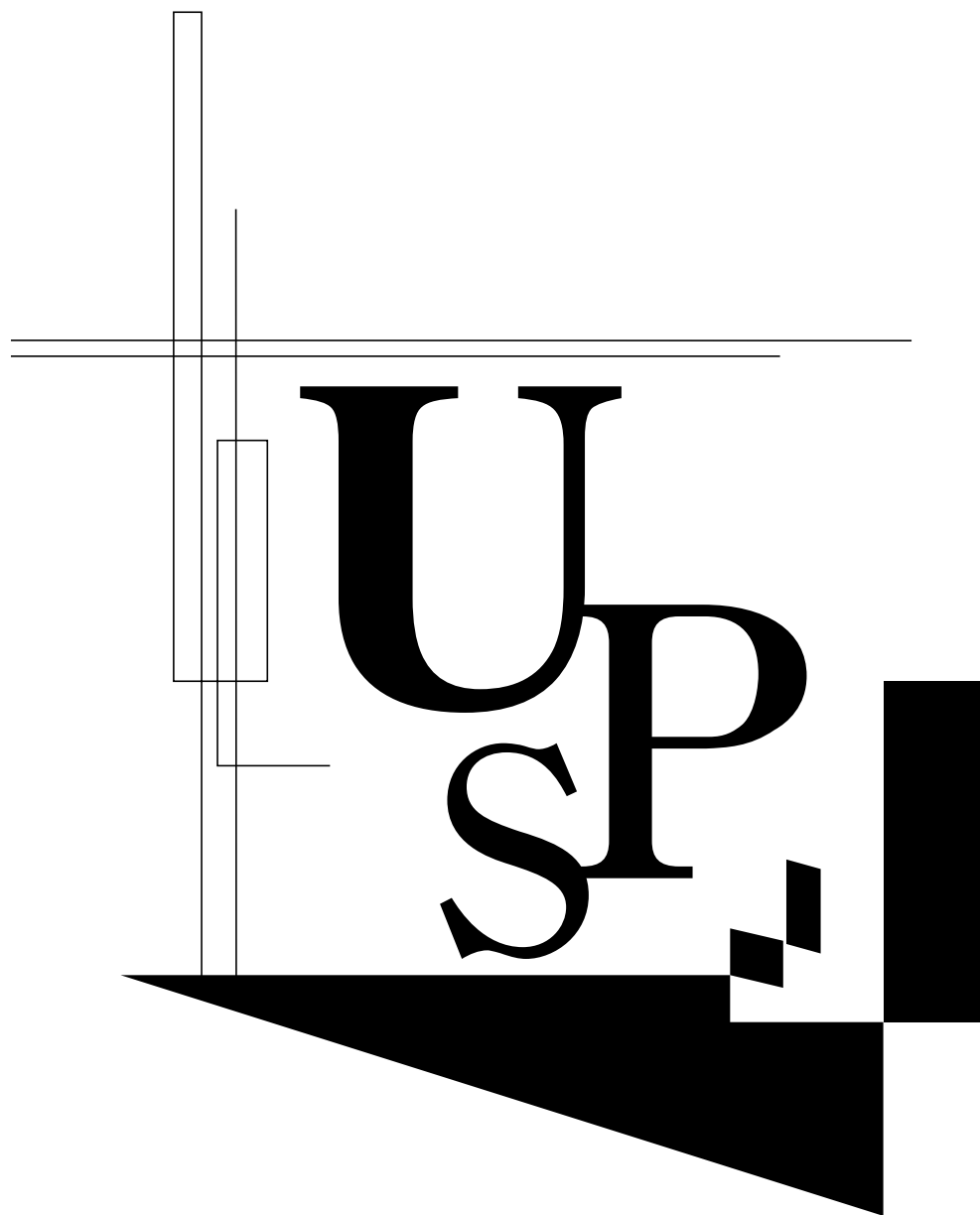
## C. 回路ブロック図



## D. 関連商品

内容	BN75R	BN150R	BN300R
交換用バッテリーパック	BNB75R	BNB150R	BNB300R
SNMP/Webカード	SC20G2/SC21		
WindowsのUPSサービス用接続ケーブル	BUC26		
接点信号入出力カード	SC07		
接点信号入出力カード(リレー出力タイプ)	SC08		





本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。  
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

**オムロンソーシアルソリューションズ株式会社**